

FUKUCHI

Public Relations

No.16
April

広報ふくち



真つすじに。正々堂々

金田劍
近藤

2007

4

行革大綱

ついに 答申



序説	はじめに	P4
第1章	行財政改革の基本的事項	P5
第2章	改革の具体的方策《第1節-第5節》	P6-13
第3章	福智町建設計画及び総合計画との調整と改革の時期	P14
まとめ	おわりに／答申を受けて	P15

特集「福智町行財政改革大綱答申」—健康・長寿の里、福智町がさらに良くなるために—

託された 新町の道しるべ

一挙公開

浦田弘二町長の諮問を受け、昨年7月に発足した福智町行財政改革推進委員会。週1回のペースで議論を深め、20回にもおよぶ会議、アンケート分析、現地視察を経て、2月6日に森山浩一会長が、浦田弘二町長に答申書を手渡しました。およそ半年をかけて新町の今後あるべき姿を明らかにした「福智町行財政改革大綱答申」。ここに、その内容をまとめ、一挙公開します。



P16-17



P22-23



P26-27

CONTENTS

背景 / 登前吉右衛門窯（弁城）高さ約6mの白モクレン

特集 福智町行財政改革大綱答申	3 - 15
■ ふくちニュース	16 - 17
■ ふくちインフォメーション	18 - 19
■ お答えします。広報「ふくち」	20 - 21
■ ズームインふくち	22 - 23
■ ふくち玉手箱 / お誕生日おめでとう	24 - 25
■ わがまち学校しょうかい	26 - 27
■ 健康Q&A / 児童・子育て支援センター / 投稿傑作	28 - 29
■ 情報ひろば	30 - 33
■ 健診へ行こう	34 - 42
■ 保健の掲示板 / パノラマたがわ / 町長日誌 etc...	43 - 44

FUKUCHI

【広報ふくち】2007.4月号

福智町として初めての剣道大会が3月18日に福智町武道場で行われ、町内全域から少年剣士32人が参加。力強い気合いと鋭い竹刀の音を響かせていました。





福 智町は、職員数や公共施設数が肥大化しています。約2.5万人の人口に対し、20万都市並の施設があり、予算規模も大きく膨らんでいます。もはや行財政改革を避けて通ることはできません。全国の市町村数が、3千232から1千820に減った平成の大合併ですが、地方交付税の削減により、再度合併する自治体も増える予想されます。つまり、合併しても財政を真剣に健全化しなければ破たんを招いてしまうという現実を直視しなければなりません。国は今後ますます交付税を削減し続けるものと思われま

福智町が乏しい財源のもとで質の高い行政サービスを提供し続けていくためには、仕事の能率について考え、頭や身体を使って努力する必要があります。わたしたちは、この機会を一町民の知恵を出

持続発展する福智を目指す、ピンチをチャンスとして。

第1章 行財政改革の基本的事項

し合い、汗を出し合い、持続して発展する福智町の行財政をつくるきっかけを与えてくれた」と考えれば良いのです。

「ピンチ」もチャンスでもあります。

そこで、今回の行財政改革は、次の2つを改革の基本的事項としました。

● 改革の基本的事項 ●

I 持続可能な行財政に [財政の健全化]

地方分権の時代における福智町のまちづくりは、町民が自らの責任で自ら決定していくことが必要です。その自己責任・自己決定を基本に、厳しい地域経済と財政事情の中で、末永く自治体として存続できる行財政の仕組みを作っていくかなければなりません。この目標達成には、市町村合併の効果を活用しつつも気を許さない、職員、町民、議会の協力が欠かせません。

II 町民本位の仕事改善 [意識と行動の改革]

行財政改革推進委員会の中では、巨額の滞納金問題への対応で、行政に対する厳しい改革を求める意見が集中しました。また、職員に対するアンケートでは、旧3町職員間の意識や仕事のやり方の違いも表れ、意識改革の必要性がにじみ出ていました。町民の意識改革もこれからです。わたしたちが旧3町の意識のままでは、福智町のまちづくりは遅々として進むものではありません。行政は町民の立場で柔軟に考えて行動し、民間でいう顧客志向（お客様本位）の考え方に立たなければなりません。

● 行政の風土改革による職員の意識と行動改革 [特別重点項目]

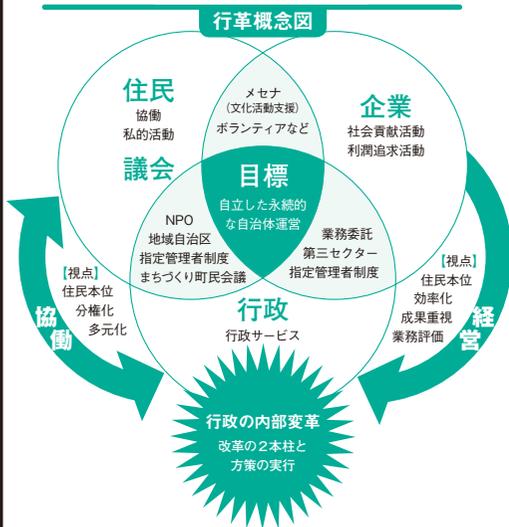
● 職場の和を基調としたグループ長制の導入

● グループごとのテーマ設定やCI手法による改革運動の実施

● 職員の自発的な勉強会や自己研修の奨励

● 町民との協働活動の場への職員参加奨励

● 来庁者への声掛け運動



視点の説明

- 住民本位**▶ 住民の立場で柔軟に考える。
- 効率化**▶ 民営化や協働化を進めコスト意識を持つ。
- 成果重視**▶ 予算消化ではなく、成果を評価する。
- 業務評価**▶ 評価と振り返りでの仕事の仕方を改善。
- 分権化**▶ 現場へ権限を移譲する。
- 多元化**▶ 役場以外も公共サービスの担い手に想定。

はじめに

健康長寿世界一の皆川ヨ子さんが生まれ育って暮らしている福智町にほこりを

福智町は平成18年3月6日、下田川の赤池町、金田町、方城町の3町が近隣の市町村に先駆けて合併し、誕生しました。わたしたち行財政改革推進委員会は11月に中間報告をまとめ、町長に答申するとともに、職員へのアンケート、町民などへのブックコメントを実施してきました。ここに本答申をまとめ、浦田弘二町長をはじめとする行政職員、町民、議会の皆様方に答申いたします。

福智町について特徴的なことは、旧3町いずれも準用再建団体（会社で言えば倒産）という不名誉な経験を共有していることです。金田町は7年間、方城町、赤池町は10年間（平成12年まで）、長いトンネルを抜けて再出発しました。その後、パブル崩壊後の景気対策として国が展開した「地方債（借金）に依存したハコモノづくり」の政策に3町とも深く足を踏み込み、過去の教訓を生かさず、立派な建物づくりを先行させて、多額の借金自治体になってしまいました。そして財政基盤が弱かったために「合併こそ地域再建の特効薬である」として、合併特例債など期限付き財政支援をあてにした3町合併への道を選ばざるを得ませんでした。

町民には、足腰の強い自立した町、質の高い職員集団の組織、少子高齢化に向けた保健・医療・福祉サービスなどが提供できる町になるとして、多くの期待を抱かせてきました。しかし、行財政が健全な福智町などは、財政指数を見る限り言えません。この現状に加え、国の「三位一体の改革」による国庫補助金や地方交付税の厳しい削減などもあり、町財政はさらなる危機的状況にあります。

しかし、我々は、この時期を町政の役割や住民・議会のあり方や考え方も問い直し、住民・職員相互の信頼や連帯を深める絶好の機会としてとらえたいと思います。わたしたちは新たな自治体像をつくりだす立場です。ムダなお金を使わずに「住民が安心して豊かに暮らせる町づくり」「子どもから大人、高齢者が誇りと自信を持てる町づくり」を実現させなければなりません。

今年1月30日に世界一の健康長寿となられた皆川ヨ子さん（114歳）は、わたしたちの町で生まれ育ち、現在に至っています。この町には、このような良い風土があるのです。そうした風土をさらによくするためには、第1に、行政職員が「行政＝世話役の原点に回帰する」ことです。今までの固定観念にとらわれず、職員一人ひとりが地方行政の担い手となり、町のリーダーとして地域を支えていくことが求められます。職員のような自助努力なしには、町民の意識改革も新しいまちづくりの理念・目標の実現も望めません。

第2に、地方分権にふさわしい町民のためのまちづくりは、職員のみならず、町民や議会との協働（パートナーシップ）なしには達成することができないということです。我々はこのような観点から行財政改革の大綱を示し、改革の着実な推進のため、みなさんのご理解とご協力を願うものです。

いま地方は冬の時代を迎えています。北海道夕張市は、旧赤池町に続いて準用財政再建団体の指定へと踏み切りました。つまり自治体の倒産です。増え続ける借金、減り続ける人口、市民一人あたりの肩にのしかかる借金の重みは加速度を増しています。わたしたち行財政改革推進委員会は、この半年間、毎週討議の中で厳しさを肌身に感じてきました。いま福智町は、合併によってこの財政危機を乗り越えるチャンスができたと言えます。しかし、このチャンスを生かさなければ財政破たんは目に見えています。この時期を生かしてこそ未来が開けるものと確信しています。「北の夕張、南の福智」とならないよう、今こそ町長をリーダーに、職員・町民・議会が一丸となって行財政改革に挑まなければなりません。わたしたちの福智町に誇りをもって、さらに良いまちにしていこうではありませんか。

福智町行財政改革推進委員会



その1▶財政基盤の強化

健全財政へのシフト、入を計り出を制する。

福智町は発足時に約237億6千万円（17年度決算・普通会計のみ）の借金を抱えて船出しました。経常収支比率は100%を超え、約30億に上る巨額滞納金など深刻な課題が山積しています。財政改善は急務です。

01 自主財源の確保と強化

税収の確保に万全を期すと共に、使用料、手数料の見直しを行い、受益者負担の適正化に努める必要があります。

- 1 町税等の収納率の向上
 - 1 税収は、町の主財源の一つであり、収納対策会議を中心として毎年の未収金を最小限に抑えようとすると、収納率向上を重要課題の一つとして取り組み、組織強化（増員等）を図る必要がある。
 - 2 課税客体の的確な把握に努め、滞納整理の適切な実施等により、収納率の向上と税負担の公正・公平を期すべきである。
 - 3 各部署は各々目標数値を定め、信念を持って取り組み、旧町の取納に関わった関係職員との適切な配置が重要である。
- 2 町税等の巨額滞納金の解消
 - 1 適切な人員配置を考慮した特別班を編成し、恒常的に滞納整理に当たるとともに、定期的に収納対策会議を開き、滞納整理の進捗状況および対策等を検討する。
 - 2 類似団体程度の職員配置を行い、それによって生じた余剰人員の一部を徴収業務に集中させる。
 - 3 30億円に上る巨額滞納金の解消については、町長をはじめ全職員総がかりで徴収に取り組み、早期回収を目指すべきである。
 - 4 年度内に支払いをしない滞納者に対しては、延滞金や督促料の徴収等、厳正に対処すべきである。また、滞納金の回収に関する条例の制定等が必要である。
- 3 税負担の公平性の原則に基づき、臨時
- 4 パワーアップ・地域アップ計画の推進
 - 1 イベント事業の効率化を図り、集客につながる条件を整備拡大して活用する。
 - 2 観光ルート（温泉上野焼名所古利等）の企画・整備や伝統芸能の保存、維持を進める。
 - 3 観光路線の企画・設定、鉄道、バス路線とリンクできる町営バス路線の企画・実施の取り組みを進める。
 - 4 福智町独自の特産品（農産物「芸豆」等）の生産・販売についての企画・立案・実施に向けて、積極的に取り組み必要がある。
- 5 投資的経費に関する事項
 - 1 補助事業を優先し、町単費を最小限に抑制する。
 - 2 事業計画（三年間）を作成して緊急性・効果等を精査し、優先順位を決めて行う。計画は毎年見直し、同年度の投資的経費の上限を定めて枠内で事業を行う。同年度で複数の大きな事業を決して行わない。
 - 3 安易に地方債を借りず、見返りがない単独事業債は原則として借り入れしない。
 - 4 その他の経費に関する事項
 - 1 職員配置の見直しによる余剰人員を維持補修業務に当てて経費の削減を図る。
 - 2 行政区長・組長の協力を求め、コミュニティとの疎遠を防ぎ、各地域との均衡を図りながら経費削減に努める必要がある。
 - 3 予算編成・執行体制の改善
 - 1 概算要求の限度額を明示し、編成に当たっては、財政の標準規模を考慮して総枠配分方法を検討する。
 - 2 行政評価委員会を設置し、重要事務事業の評価を行う。その結果について、三役幹部会（課長を含む）に報告し、効果的な財政運営に資する。
 - 3 入札制度の見直し
 - 1 入札監視委員会を設け、一般競争入札を主体として、インターネット入札の導入を検討する。
 - 2 もったいない運動の展開
 - 1 行財政改革推進本部のもとに、もったいない運動の推進を図る。
 - 2 一人ひとりが現状を理解し、できるものから積極的に取り組む。

基 金残高・地方債残高の動向、経常収支比率をみれば、福智町の破たん寸前の財政状況が見えてきます。広報紙で年に一度は「財政特集」を編集発行し、情報公開に努め、財政問題について町全体で考えなければなりません。

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は75%〜80%が標準的と言われてきましたが、平成17年度の福智町の経常収支比率は101.5%です。町の第一次指標として、5年以内に県内平均の93.5%までに引き下げるべきです。標準財政規模を勘案しながら財政規模の拡大を抑制し、経常収支比率の適正化を図るとともに、新たな行政需要に対応するために財政の柔軟性を確保して、歳入に見合った歳出削減措置への転換を図る必要があります。

さらに、いずれ導入される新公会計基準で求められている資産・負債を示すバランスシート、事業の行政コスト計算書、一定期間の資金の出入れを示すキャッシュフローの取り組みを真摯に研究し、企業経営的な感覚を常に持つて財政運営に果たすことが求められます。予算重視から決算重視への転換を図り、健全・堅実な次年度の予算編成へとつなぐべきです。

全国的な行財政改革の波は、これまでになく自治体への意識改革を迫り、期待するものです。今後、自治体がどれだけ改革にやる気を示せるか、その姿勢が問われていることは言うまでもありません。



継者によるチームの結成をする必要がある。当然、行政でもチームを編成し、いずれも、確固たる官民協働の理念に基づいて取り組むべきである。

福智町の将来を担う人づくりのために、教育の充実と重点を置くべきである。充実した教育が行われ、若年層が安心して子

02 歳出の削減

- 1 人件費に関する事項
 - 1 職員の補充は原則として5年間は行うべきではない。補充しても退職者の1/3以下にとどめ、臨時職員は減員する方向で検討すべきである。報酬等も再度見直す。
 - 2 10年で類似団体並みの職員数にする予定だが、早急に類似団体を下回る職員数の配置を行うべきである。また、各種手当の見直しなども行う必要がある。
 - 3 退職勧奨を適宜実施する。
 - 4 人事評価制度に対応した給与制度の適正化を図る。
- 2 物件費に関する事項
 - 1 消耗品は集中管理を行い、旅費の適正化や各分野の節減に積極的に取り組むべきである。

育てができる町にこそ人が集まり、定住化へと進むものである。そのためには、安定した収入の確保も不可欠であり、若者の雇用の安定促進もあわせて最大課題として取り組む必要がある。財政的には厳しくても、重点施策を吟味し「事業の選択と集中」を徹底することが必要である。

- 3 扶助費に関する事項
 - 1 扶助費は法定の負担のみとし、任意による町単独の扶助費は、減額や廃止などの見直しを行う。
- 4 補助費等に関する事項
 - 1 組織と活動内容を再度精査し、助成金補助金を決定すべきである。将来性もなく活動内容の乏しいところは助成を廃止。
 - 2 公的機関以外の任意団体に対する助成金・補助金は原則廃止すべきである。

- 8 行政評価委員会の構築
 - 1 行政評価委員会を設置し、重要事務事業の評価を行う。その結果について、三役幹部会（課長を含む）に報告し、効果的な財政運営に資する。
- 9 入札制度の見直し
 - 1 入札監視委員会を設け、一般競争入札を主体として、インターネット入札の導入を検討する。
- 10 もったいない運動の展開
 - 1 行財政改革推進本部のもとに、もったいない運動の推進を図る。
 - 2 一人ひとりが現状を理解し、できるものから積極的に取り組む。



その2▶効果的・能率的な行政運営

公共施設とイベントの整理統廃合。

公共施設の管理運営は、能率的活用と合併効果を図りながら、現状を早急に調査検討し、効果的活用の促進や整理統廃合を大胆に行って、支出されている費用が生かされるような対応策を急ぐべきです。



- 01 公共施設の能率的活用**
- 1 施設の整理統廃合と維持管理経費削減
 - 2 既存公共施設の利用状況の総点検。
 - 3 現有施設の有効的活用。
 - 4 無駄な施設の廃止処分。
 - 5 同じような施設の統合。
 - 6 民間への売却・委託・貸し出しの検討。
 - 7 施設の移転による効果的活用の模索。
 - 8 幼児教育（保育を含む）、学校教育、社会教育・生涯学習など、子どもの健全育成のための教育条件の整備。
 - 9 地域産業（上野焼）や温泉施設など、郷土の特性を生かしながら連携して発展する施策を立案する。
 - 10 新しい施設を造らず、現有施設の有効



- 02 イベント事業の統廃合**
- 1 旧3町で行われてきた行事の今後のあり方について、次のように検討
 - 2 独自性を生かして存続させ、かつ全町のな取り組みができるもの。
 - 3 類似した行事で統合できるもの。
 - 4 廃止したほうがよいと思われるもの。
 - 5 福智町の発展のために、新たに始めることが望ましい行事はないか検討する

02 イベント事業の統廃合

旧3町で行われてきた行事には、地域の独自性を生かしたもので地域ならではの行事もあります。すべての行事内容を精査し、町民の連帯と発展につながることを念頭において、統廃合等を検討すべきです。

- 03 診療所および公営企業の見直し**
- 1 診療所**
コスモス診療所の経営状況は悪化の一途をたどり、いまや年間赤字2億6千万円という最悪の状態に至っている。緊迫した町財政に与える影響も少なくはない。福智町にはコスモス診療所と方城診療所があり、地域医療の拠点として住民に信頼され親しまれる診療所として存続させるためには、現状の徹底分析と健全な経営状況をつくり出す方策を見出すことが急務である。診療所に関する検討委員会を立ち上げて次の事項について協議する。
- 1 町内二つの診療所の実情を調査する。
 - 2 経営困難をつくり出している要因は何か徹底分析する。
 - 3 診療所を公的医療として存続させるか、民間委託にするか診断する。
 - 4 年次計画を立て、経営状況については定期的に変動を観察し、課題の克服に向けて取り組む。
 - 5 診療所を一つに統合する。
 - 6 水道事業の見直し
- 水道事業においてもその運営は厳しいものがある。水道事業は住民生活に直接関係する部分であり、安全性の確保を図るの当然のことである。そのためには、経営に努力することはもちろんのこと、施設の老朽化などにも対応できる財政基盤の確立が必要である。当面は、水道料金の取納率の向上を図る取り組みをすることが急務となる。

01 総合案内・総合窓口の設置

窓口や電話の対応が町民との一番の接点であり、行政の評価もこれに大きく左右されます。福智町は合併により、事務の場所、手続き方法、担当者などが変わり、さらに業務が専門化しているため、町民がどこに行けばいいのか迷うことがあります。こうした合併の弊害を無くすためにも窓口サービスの質の向上・改革が望まれます。「総合案内・総合窓口の設置」は、単に部署や窓口を新設するのではなく、各窓口の案内・窓口的な機能を充実させ、全職員が町民の相談役として機能する対応が必要です。より町民の視点に立った行政サービスの質の向上を目指すことを希望します。

02 窓口サービス時間の拡大

平日の日中に来庁できない町民が少なくない現状を考えると、窓口業務の多様化が必要です。時間の延長をはじめ、いつでも、どこからでも手続きを可能とするITを活用したサービス向上が求められます。特に情報通信技術を最大限活用し、町民ニーズへの対応、行政事務の高度化・効率化のための有効な方策として、一層情報化を推進していくことが望まれます。当面はフレックスタイム制を導入し、曜日指定して、平日は6時までと、月に1回、日曜日に半日の窓口開設を検討して実施することが望まれます。

第Ⅱ章 / 第2節 町民の視点からの行政サービスの質の向上

「行政は最大のサービス業である」という視点で窓口サービスを意識改革と手法で向上。

窓口は役場の顔です。一人の職員の何気ない対応でも、すべて福智町行政という看板を担っています。お金をかけずに工夫をし、さらにプロとしての意識を高めた、よりよいサービスの提供を希望します。

03 窓口対応の向上

町政は、まず役場職員の対応の仕方によって評価されます。役場の顔である窓口やさまざまな現場において「すべての町民が、より良い福智町を築くための税金を納めていただく、大切な方々である」という基本認識が必要です。「町民は役場を選べない」という言葉をよく耳にしますが、町民への対応のあり方について民間から学び、町民志向に基づく職員の意識改革を行って、全庁的に窓口対応の改善・向上に取り組む必要があります。

04 相談窓口の充実

一般的に、町民は「役場は敷居が高い」と思っています。相談事もつい有力者や職員に寄せることがあります。行政の平等性や公平性、町民との信頼性を高めるためにも相談窓口の充実が必要があります。そこで、全ての課に相談窓口を設けることを望みます。同時に、全庁的に統一した様式の元に相談や要望を受けてデータベース化し、プライバシーに配慮しながら町民に情報提供を行って、政策立案に反映させるなどの具体的方策が望まれます。

05 町民の意見箱の設置

意見箱には従来から取組まれています。十分に活用されていません。しかし意見箱の役割は町民による手づくりのまちづくりを進める上で欠かすことのできないものです。設置場所等を工夫して活用し、寄せられた町民の意見の反映を望みます。インターネットを活用した電子掲示板等「町民の意見箱」は多様な形態を取り入れ、意見や要望は前項のデータベースと一体化して、行政からの情報発信の起爆剤とすることが望まれます。



受け身ではなく自発的な積極行政

組織のスリム・効率化と個々の強化育成。

組織は人です。人を活かすのも組織です。自治体に地方分権と地方自治のあり方が問い直されるいま、変革の時代に対応できる体制が必要です。福智町では、さらに時代を一步リードする行政を希望します。



- 1 住民票・戸籍抄本の申し込みや各種使用申込書・税金や公共料金の納付など簡単な事務の対応をする。
- 2 担当する職員全員に出納員辞令を交付し、領収印を預ける。
- 3 フレックスタイムの導入
「町民のために役場の窓口はある」という考え方に立ち、働く人達のことを考慮して、町民の利用しやすい時間設定にする。
1 平日は、朝1時間早く出勤し、夕方は、1時間30分延長する。
2 休日は、平日通りの時間帯とする。
3 窓口業務に従事した職員は▼朝1時間早く勤務した職員は1時間早く退庁▼夕方遅く勤務した職員は朝10時に出勤▼休日に出勤した職員は振りかえ代休をとる。
※ 超勤手当での支給はしない。
- 4 庁内人事検討委員会を設置する
職員が力を発揮できるような、納得できる民主的な人事を行うよう努力する。
1 庁内人事委員会を、町長を中心に、各年代代表・男女代表・課長代表など、全体的なバランスを考えて10人程度で構成。
2 庁内人事方針案を作成し、提案する。
3 庁内人事の一つひとつの取り組みについて評価や課題を明らかにし、よりよい方策を生み出す努力をする。

合併

併に伴って組織機構は肥大化し、現在、24課1局となっている。しかも職員数306人のうち、24課に33人の課長、62係に95人の係長がいて、主査は58人、主任主事は20人、主事は58人であり、課長・係長が合計128人と、まさに役職が氾濫している職場となっている。職制をスリム化することで、命令系統を一本化し、シンプルで風通しのよい職場づくりを進める必要があります。旧町の枠を取り崩し、因習や既成概念に捉われず職員の本質の和をつくりだすために、課の統廃合と共に名称も含めて、機構組織の抜本的な見直しに大きく足を踏み出すとします。

現在の本庁と支所の状況は、旧3町の職員が合併後の困難を共に克服しようとする関係より、連絡の不徹底などが重なり不協和音を奏でている感があります。また、現在の業務は、窓口で住民の申請を待つことが基本となっています。住民が抱える課題を申請主義で対応する時代は過ぎました。申請事項のみが自治体の課題として認識されてきた申請主義から、申請される前に「現場」で取り組むべき課題に目を向けることが問われています。自治体サビジスが必要とする人に「出前」しなければならぬ時代になっています。

02 定員適正化の推進

- 合併に伴い、事務事業量に応じた職員の適正配置にいたる課題があることから、抜本的な見直しが必要とする。
- 1 職員数の早期適正化を図る
類似団体を下回る人員体制を目指す。
2 事務事業の整理・合理化を図る。道路や施設等の維持管理にも職員を充てる。(他へお金を払っていることを職員が行う)
3 職員の新規採用は財政健全化計画との調整を図りながら最小限にとどめる。
 - 2 職員採用は庁内人事委員会が担当し、採用試験による公正・公平な人選を行う。

03 人事評価制度の導入

- 1 人事評価制度を検討し、実施を目指す
1 年功序列を払拭し、能力主義・成績主義を導入する。(指導力・責任制等)
2 人事評価には、自己評価性・総合評価性を採り入れ、自分で考え、自分で判断し、自発性を身に付けた職員を目指す。
3 第一に、職員自身が評定する。(自己評価)
4 第二に、課長が行う。
5 第三に、町長・助役・庁内人事委員長で総合的評価をする。
6 (4)評定形式は評価シートを中心に統一化。
7 職員が自分の持ち場での実践・反省・課題・方策をレポートして提出する。
- 2 昇任試験制度の導入を検討する
- 3 女性管理職登用を推進する

01 機構改革

- 1 組織改革の再編を検討し、あわせて係の廃止によるグループ制について調査研究して実施を目指す
1 係制度・係長の廃止▼係制度は業務が固定化される。組織も細分化され、部下のいない係長職も生まれている。係を超えての事務協力も難しいと思われる。
2 グループ制度の導入▼縦割り制度の弊害を解消し、職員一人ひとりの力と創意工夫が生かされる環境をつくる。グループにはグループ長を置き、グループの統括をする。(19年度を検討期間とする)。
- 2 推進体制を強化する

- 1 行政改革の推進にあたっては「行政改革推進本部」を中心として全職員が一致協力のもとに推進する。
- 2 毎朝のミーティングはもとより、定例的な課内会議を定着させ、各課より、課長等へ積極的な提案をしていく。
- 3 一課一提案運動(課内会議で目標を決めて取り組む)
- 4 行政改革の実施状況を広報紙で公表し、町民からの提案も募り、改革への認識を高め合う。
- 5 庁内広報紙(職場新聞)の発行。
「今、だれが(ど)こが、何を、いつまでに、どのように、行政改革をやっているか」という具体的な動きを広報し、研修も行い、職員共通の認識を持って行革を進める。
- 3 支所を廃止し、本庁一つにまとめる方向で検討する



04 職員研修制度の充実

- 1 庁内研修の充実強化を図る
1 自己研修 2 課内研修 3 グループ研修
4 各種研修会に積極的に参加する。
- 2 他市の町村を視察する。

05 職員給与の適正化

- 1 国の制度に準拠した、適正な給与制度を運用する。
- 2 諸手当の見直しを検討する。
- 3 旧町間の職員給与の格差是正をする。

06 職員のアイデアを生かす提案制度の導入

- 1 職員提案制の導入。
- 2 提案が採用・実施された者を顕彰する。

07 議員定数の適正化

今日の厳しい財政状況に対応するため、全国的に議員提案による定数削減が検討され、減少傾向にあります。今後の行政運営を考えると、本町においても4月の改選(定数20人)後、早急な条例定数の見直しが必要不可欠です。



- 1 特別委員会が期間を決めて検討する。
- 4 暫定的措置としての支所のあり方を早急に検討する
1 業務を最低限必要なものに整理する。
2 旧赤池町・旧方城町庁舎の活用と関わって所在を検討する。
3 (1)庁舎の一部を借用する。
4 公共施設を二時借用する。(空き施設があれば利用する)
3 支所の職員数を業務可能な最低人員に削減する。
- 5 「出張役場」制度の開始
本庁に足を運びにくい遠隔地や、高齢者、障害者によさしい取り組みとして自治体職員の自宅を「出張役場」とし、事務の取次ぎなどができるようにする。

福智町は同規模の町が合併し、今まで競ってまちづくりを進めてきたため、同じような施設が町内に分散してきました。このままでは財政破綻に陥ることは明白で、合併効果も上げられません。福智町は合併しても極めてコンパクトであり、地理的条件に恵まれています。この状況を生かした一体感の創出が当面する課題です。そこで、施設整備・集積・アクセス状況を勘案し「体育スポーツの拠点」「文化の拠点」「観光の拠点」「健康福祉の拠点」のように拠点を再編して、活性化を図るよう望みます。

01 町民活動の拠点施設の再編と活性化

これからの福智町におけるまちづくりには「協働」という視点が重要です。今まで住民サービスは、役場だけが町民に対して行ってきました。しかし、サービスの中には、民間企業が安価かつ効率的で、送り手、受け手ともに満足度が高いものがあります。役場が行っているサービスを一つひとつチェックし、どんな主体が、何を使って、どのように行うのが町民にとって最適で満足度が高いかを再検証し、町民の合意を得ながら、あるべき姿にしていく必要があります。



第II章 第5節 町民との協働によるまちづくりシステムの確立

情報と目的を共有し共通する価値観をもって

協働をキーワードに一体化を推進。

今やまちづくりや課題の解決に不可欠なものとなった「協働」。その主体は住民、そして行政です。各地域・団体・企業が相互に連携し、主体的にまちづくりに参画しなければ、福智町の展望は開けません。

合併直後の福智町には、2つの地域行政区があります。その規模や実態は様々です。最も理想的な姿は地域コミュニティと一体化していることですが、現状はバラバラな状況にあります。地域行政区は地方自治の細胞とも言える重要な存在です。地

03 地域行政区との連携強化

合併直後の福智町には、2つの地域行政区があります。その規模や実態は様々です。最も理想的な姿は地域コミュニティと一体化していることですが、現状はバラバラな状況にあります。地域行政区は地方自治の細胞とも言える重要な存在です。地

この困難な時代を乗り切るためのまちづくりには、支え合う社会と循環型社会、ここでしかできない地域の特性を活かしたまちづくりがキーワードとなります。今後の「協働」により、事業の効果を上げる可能性が広がります。町が取組む事業には、幅広く、住民・企業との協働事業を検討し、取組まれていくことを望みます。

05 協働事業の選別と実施主体の検討

この困難な時代を乗り切るためのまちづくりには、支え合う社会と循環型社会、ここでしかできない地域の特性を活かしたまちづくりがキーワードとなります。今後の「協働」により、事業の効果を上げる可能性が広がります。町が取組む事業には、幅広く、住民・企業との協働事業を検討し、取組まれていくことを望みます。

04 事業案前からの町民参加方式の検討

協働のまちづくりを進めるには、前節の冒頭で述べたとおり、行財政の情報を町民や企業と共有し、共通する価値観を持つことが大前提になります。そこで、タウンミーティングや各種団体との連携強化をはじめ、パブリックコメント制度の導入など、事業案前からの幅広い住民参加の機会を検討するよう提言します。

02 まちづくり町民団体との連携強化

この大綱では、協働という概念を「町内全域やその一部の地域で、町民の参画する多様な主体が、地域が必要とする町民サービスの提供を協力して行う状態」と捉えています。ここで言う「多様な主体」とは、行政区や自治会、町民活動団体、NPO、公益法人、民間企業など、町民が参画する団体のことです。また「住民サービスの提供を協力して行う」とは、住民団体が、単に行政から委託された業務を行うだけでなく、住民サービスの目的を共有し、相互に連携・分担して行える関係を示します。その前提として情報共有の必要性があり、さらに「一歩進んだ目的を共有化した協働による住民サービスを行うためには、その執行段階だけでなく、計画や評価・改善の各段階でも住民参画がなされること」が理想です。合併直後のため、これから各種団体の統合再編が進むと思われますが、福智町の新しいまちづくりには、各種団体との連携を強化した体制が望まれます。

02 各種委員会・審議会等への公募委員導入

住民自治の拡充を図るためには、情報の公表・提供、住民ニーズの把握、住民参



03 各種委員会・審議会等の情報公開

住民との協働のまちづくりを進めるためには、行政運営全体を通じて、単に政策判断の結果が適切であるだけでなく、その前提となる事実（情報）や過程も重要です。行政手続の公正の確保と透明性の向上、住民に対する説明責任を果たすため各種委員会・審議会等の情報を積極的に検討することを望みます。特に議会や委員会の傍聴は、日曜議会や夜間議会等の導入により、住民参加の便宜が図られることを望みます。

04 広報紙・ホームページの充実

福智町の広報紙は、多くの町民も認めている誇りえる広報紙です。この広報紙をさらに生かし、まちづくりの糧とすることが望まれます。また、ホームページの充実には欠かせません。インターネットの双方向通信の特徴を生かし、町民参画促進と町民と行政、町民と町民をつなぐ広場として充実させることを望みます。

第II章 第4節 町政の公開による町民参画促進

協働のまちづくりの大前提として

積極的な情報提供で説明責任を果たす。

情報がなければ判断も行動もできません。行財政やまちづくりの情報は、要求され、必要に迫られてから示すのではなく、まずは行政の説明責任として、きめ細かく前もって明らかにすることが望まれます。



新

しい福智町のまちづくりは、町を構成する住民・企業・行政がそれぞれの役割と責任を分担し、力を合わせなければなりません。そのためには、お互いを対等の存在として尊重し、まちづくりのパートナーとして認め合うことが大切です。ところがこれまで、町民サービスはほぼ「行政が町民に提供するもの」という認識で行われてきたため、行財政の情報は圧倒的に行政に偏って存在していました。また、行政からの情報提供も広報紙やホームページ・事業説明会・出前講座・タウンミーティングなど、媒体や手法は増えたものの必ずしも十分ではありませんでした。町政への住民参画、ひいては協働のまちづくりを進めるには、その大前提として、まず行政の持つ情報を町民や議会・企業と共有し、共通する価値観を持つことが大切ですが、それは単なる情報公開ではなく、政策の過程・結果・成果・課題について行政自身が積極的に情報を提供し、十分な説明責任を果たすことで実現します。そうすることで初めて、真の意味での相互理解とパートナーシップが生まれ、協働のまちづくりの第一歩が踏み出せるのです。

01 広報・情報発信提供窓口の二元化

町民とのパートナーシップによるまちづくりを推進していくには、情報の共有が欠かせません。情報提供手段である広報紙やホームページなどをより町民の立場に立ったものにするには、広報活動や情報発

おわりに

豊富な資源と可能性に期待大



森山 沾一 会長（福岡県立大学教授）

福智町は、合併後過大になっている予算や、仕事、公共施設数、職員数などを集中して適正規模に近づける努力をする必要があると、この大綱で述べてきました。また、新しい住民サービスの担い手として想定される地域行政区や町民団体、自治会、NPOなどの活動や組織化を支援し、協働のまちづくりを推進する必要があると示してきました。短い期間でこの改革を成功させるには、何と言っても町長をはじめとする町幹部を中心とした強力なリーダーシップと実行力が問われます。しかも、それは具体的かつ、全職員が一丸となって取組まれるものでなければなりません。

福智町は世界一の健康長寿・皆川ヨ子さんが住むだけでなく、400年の伝統を持つ上野焼、温泉、名所、豊かな農産物・工芸品などの特産品があります。このように豊富な地域資源とポテンシャル（実現可能性）を持つ町なのです。昨年度まで市町村合併という大改革を行ってまいりましたが、さらに新町では行財政改革

を推し進め、新しい未来豊かな福智町を実現する行政を町民と共につくり上げていただきたいと思います。

そこで、今回の答申の特徴は、次の4点に要約することができます。

第1に、行財政のピンチをチャンスにするための「発想の転換の視点」です。可能性を数多く持つ福智町が、さらに豊かな町となるために「スクラップ・アンド・ビルド」をする創造的視点です。

第2に、そのために町民、行政、議会、企業などとの協働（パートナーシップ）を提言していることです。知識のある人は知恵を出し、身体の強い人は汗をかき、それぞれの立場から新しい町をつくり上げていく必要があります。

第3に、行政職員の意識改革、行動改革に向けた組織改革と研修システムの充実を重視したことです。町民と町職員との協働により、福智町はさらに良い町になっていくことでしょう。

第4に、提言のひとつに「公設民営事業」を提言していることです。指定管理者制度を含めて職員の派遣事業も視野に入れた町の活性化を提言しています。

最後に、行政内部に設立された「行財政改革推進本部」で、これらの趣旨を活かした具体的な行動計画が策定され、早急を実施されることをここで強く期待いたします。



20回におよぶ会議で議論を深め答申した福智町行財政改革推進委員会

答申を受けて

皆

さんすでにご存じのとおり、いま福智町の財政は硬直化し、極めて厳しい状況にあります。このままの状況を放置すれば、町はいずれ立ち行かなくなります。そのような危機的状況の中、今回の行財政改革大綱答申が示されました。

私共はこの答申をふまえ、見直すべきものは見直し、できることから積極的に改善をして、行政の責務を果たさなければなりません。具体的には、昨年末に立ち上げた行財政改革推進本部のもと、公共施設の統廃合や自主財源の確保など、重点項目ごとのプロジェクト委員会を直ちに組織して、町の状況に見合った改革の手法を明らかにしていきたいと思っております。

私は財政の数字だけを改善することが行財政改革ではないと考えています。一時的な好転では「繰り返し」を招きます。この改革の柱は意識改革であり、その上に健全な財政基盤が創られてこそ「真の改革が成った」と言えます。合併前に比べ職員の負担は少なからず増えています。この改革の歩みを止めること

は、もはや許されません。福智町は過去に財政再建を果たした経験もノウハウもあり、豊かな地域資源や町発展の可能性も大いに秘めています。職員の自発的な意識の高まりは、必ずや住民の皆さんに伝わり、町を挙げての改革が成し遂げられるものと信じています。

私はこの改革に職員一丸となって臨み、町の存続と未来をかけて改革を推進する所存です。福智町の礎はいま創らなければなりません。住民の皆様には、公共施設の統廃合をはじめ、ご理解をいただかなければならない課題が多々あります。どうか、町の厳しい現状を認識していただき、改革が目指す方向に、お力添えを賜りたいと願っています。



浦田 弘二 町長

町の未来と存続をかけて



単なる計画書で終わらせないために。

福智町行財政改革大綱の実施計画は、福智町建設計画および総合計画との整合性を図り、改革の期間中は行財政改革の目標達成を最優先することとします。そして、行政内部の「行財政改革推進本部」で具体的な達成目標を作成し、実現していただきます。

目標達成、町民への情報公開などの具体的事例としては、糸島郡二丈町が参考になると思われます。

この行財政改革大綱の計画年度・改革時期は、平成19年度から23年度まで

での5年間とし、大綱の下にある実施計画は実施事項の達成状況の確認を毎年行い、その結果を広報紙やホームページを使って公表し、広く町民から改革に対する意見を聞く必要があります。

大綱が単なる「計画書」に終わり、実践されないことが多々あります。改革を確実なものにするため、最終答申後も外部委員を入れた行財政改革評価委員会などの会議を設置し、毎年度その改革の成果を評価して、町民や議会に公表されることを提言します。

福智町行財政改革推進委員会

会長	森山 沾一	(県大)
副会長	荒巻 久美子	(金田)
副会長	中原 和義	(上野)
委員	青野 義信	(神崎)
委員	池長 昇	(神崎)
委員	太田 淳三	(上野)
委員	須藤 優子	(金田)
委員	立花 義廣	(赤池)
委員	長谷川 浩	(市場)
委員	林 桂太郎	(神崎)
委員	原田 幸美	(弁城)
委員	久富 幹枝	(弁城)
委員	本田 美津江	(伊方)
委員	松尾 英俊	(弁城)
委員	安武 憲明	(上野)
委員	山尾 勝子	(上野)
委員	渡辺 巧	(神崎)

50音順・敬称略



微妙な力加減が難しいところ...

親交深めた体協発足記念行事

● 福智町体育協会発足記念カローリング大会

旧 3町の体協が統合し、福智町体育協会が発足した記念のカローリング大会が3月4日に金田体育館で開催されました。開会式では「町全体で親睦を深める良い機会にしてほしい」と池長界会長があいさつ。地域から参加した36チームは、子どもから大人までわきあいあいと競技を楽しみ、福智町としての一体感がより高まったようでした。結果は次のとおりです。▼優勝/月光▼準優勝/あられ▼3位/金田三区。



いよいよ台車に新車両が積まれる瞬間

春色の車両がやってきた

● 平成筑豊鉄道新型車両組み立て

4 月から運行する「へいちく新型車両」が、3月10日に金田駅に到着しました。工場から駅まで、大きなトラックで運ばれた色鮮やかな新車両が、大勢の関係者に見守られながら命を吹き込まれます。トレーラーの荷台から、あらかじめ線路の上に準備した台車まで、2台の巨大クレーンで慎重に運ばれて組み立てられました。この車両は3月25日にお披露目され、一般公募した愛称が発表されます。楽しみです。



林務局選管委員長から当選証書の授与

無投票で委員14人が決定

● 福智町農業委員会委員一般選挙

農 業委員会委員一般選挙の告示が2月13日に行われ、14人の定数年度の立候補があり、公選による委員が無投票で決定しました。2月19日に選挙管理委員会から当選証書が渡され、その後議会をはじめ各団体推薦の委員6人も決定。旧町から引き続き38人で発足した福智町農業委員会は、今回で20人となり、3月16日の役員選出で、会長に仲島澄男さん(伊方)が就任しました。詳しい内容は来月号でお伝えします。



思い出の合唱曲に思わず涙(金田中)

希望を胸に涙の巣立ち

● 町内3中学校卒業式

共 に支え合い、歩んできた仲間との最後の学校行事となった卒業式が、3月15日に町内の各中学校で行われました。この日、9年間の義務教育を修了した卒業生は268人(赤池中102人・金田中85人・方城中81人)。それぞれの学校で、今までの思い出を振り返った答辞が述べられ、笑いあり、涙ありの思い出深い式典となりました。保護者と恩師が見守る中、生徒たちは学舎に別れを告げ、新たな一歩を踏み出しました。



講演後、足跡を訪ねた織井青吾さん(中巻)

方城大非常の秘められた真実

● 炭坑の歴史から福智町の未来を考える講演会

日 本最大の炭坑爆発事故といわれる方城大非常。大正三年に三菱方城炭坑で発生した大惨事です。過去にこの事故について執筆した作家の織井青吾さんを講師に迎えた講演会が、3月18日にほのぼの館で開催しました。「炭坑と方城大非常」と題した講演で、公表被災者数が発生当初から減少し続けた背景や実際はゆうに千人を超えたと推察される死者数についてなど、往事に思いをはせながら謎が解き明かされていきました。



72歳の彼女が語る今までの人生経験談

「現場からお伝えしました！」

● 福智町文化講演会

突 撃リポーターとしておなじみの東海林のり子さんを招いた文化講演会が、3月16日に中央公民館金田分館で開催されました。普段は現場で事件取材する立場の東海林さんが、この日は一変し、ご自身やご家族のさまざまな「事件」をユニークに会場へ伝えました。東海林流・健康の秘けつは「笑うこと」。だというように約100人の参加者を笑いの渦に巻き込みんだ東海林さん、始終笑顔が絶えない講演会となりました。



満開を楽しみにしながらの周辺整備

20kgを背負い満開に向け準備

● 虎尾桜ボランティア周辺整備

虎 尾桜を心配する世話人會(熊合信孝会長)による校の周辺整備が3月4日に行われました。会員をはじめとする13人が福智山登山道入り口に集まり、20kgもある土壌改良材を1人ひとりが担ぎました。急な山道を登り虎尾桜と対面した参加者は、周辺の草を刈って、土壌改良材を散布。毎年の整備のあいあつてか、今年のおぼみもふつくと色づき、まるで虎尾桜が「早く咲きたい」と語りかけているようでした。



まごころを伝える対応を学べた研修会

プロの接客を窓口業務に反映

● 町職員接客マナー研修

町 職員を対象とした接客マナー研修が2月22日に役場本庁で開かれました。客室乗務員を17年間勤めた西藤孝子さんを講師に招き、言葉遣いや対応の基本を学習。住民の視点に徹した講師の指摘を受けて「無意識のうちに行っていた自分の悪い点に気づきました」と自分を振り返る職員も多く、2回の研修に約150人が参加しました。今後、町では職員研修を充実させ、行財政改革と住民サービスの推進を図る方針です。

FUKUCHI INFORMATION

大会ボランティア

参加募集

車いすテニスをサポート



↑選手の移動をサポートしながら、ふれあいの楽しいひととき。

国内外のトッププレイヤーが集まる飯塚国際車いすテニス大会が5月15日(日)から6日間開催され、福智町がサブ会場としてこの大会を盛り上げます。また、今回で16回目を迎える国際交歓会が5月18日(日)に福智町で盛大に開催される予定です。

福智町車いすテニス実行委員会では、大会と交歓会をサポートするボランティアを募集します。みなさんの手で大会を支えましょう。詳しくは、役場福祉課までお問い合わせください。

◎ 役場福祉課福祉係
☎(0)776-3

スリム化に向けて

機構改善

4月2日から窓口業務の一部が移動します

2月6日に福智町行政改革大綱が答申され、経費削減のために行政機構の見直しを図りました。このことにより4月2日(日)から下記の窓口が移動します。

赤池・方城支所地域建設課 → 役場建設課/住宅課

- 町道、農道、林道、水路の維持管理に関することは役場建設課へ ◎ 役場建設課 ☎22-7765
- 町営住宅の維持管理に関することは役場住宅課へ ◎ 役場住宅課 ☎22-7768

赤池・方城支所水道係 → 役場水道課

- 上水道の維持管理に関することは役場水道課へ ◎ 役場水道課 ☎22-7769

金田・方城保健センター → 赤池コスモス保健センター

- 母子手帳交付、母子栄養強化食品支給申請、その他保健関係についての相談、問い合わせは赤池コスモス保健センターへ。ただし、**金田・方城で行われている各種教室、方城保健センターで行われているボリオ、金田・方城で行われている毎月の保健相談は、引き続き金田・方城で行います。**

◎ 赤池コスモス保健センター ☎28-9500



安売りが自慢の春

伝統工芸

第34回 上野焼 春の陶器まつり開催

400年の歴史を誇る国指定の伝統的工芸品・上野焼。今年も「陶器まつり」の季節を迎えました。お買い得な割引商品とさらにお安くならしたチャリティ商品の販売や空くじなしのスタンプラリーの開催。さらに、隣接する上野の里ふれあい市では農産物大売出しが開かれます。使ってこそ良さが分かる上野焼。見て、触れて、やさきもの伝統とぬくもりが身近に感じられる3日間、どうぞ上野の里に足をお運びください。

日時▶ 4月28日(日)から30日(日)まで (9時～17時)
場所▶ 上野の里ふれあい交流会館
◎ 上野焼協同組合 ☎28-5864



↑お買い得品や掘り出しものが盛りだくさん、じっくりお気に入りの品を見つけてください。

福智町中央公民館で

参加募集

春季ハングル(韓国語)講座



↑あなたも韓国語をマスターして、日韓交流を楽しみましょう。

「アンニョンハセヨ」福岡から一番近い国、韓国。春から一緒に韓国語を学んでみませんか？ 初めての人を対象に「初級・入門コース(全6回)」を福智町中央公民館主催で開催します。

日時▶ 4月21日(土)～7月14日(土)までの毎月第2、4日
9時30分～10時30分

場所▶ 福智町中央公民館

対象▶ 町内在住で18歳以上の人
定員▶ 20人(定員になり次第締切)
受講▶ 無料

◎ 福智町中央公民館
☎(0)776-4100

忘れずに投票を

地方選挙

県知事・県議会議員・福智町議会議員選挙

福岡県知事、県議会議員および福智町議会議員選挙が行われます。あなたの一票が未来をつくる大切な選挙。棄権せずにぜひ投票してください。投票会場には選挙管理委員会から送られる入場ハガキを持参ください。

◎ 福智町選挙管理委員会 ☎22-0555

県知事・県議会議員選挙

投票日▶ 4月8日(日) 7時～20時

投票できる人▶ 満20歳以上(昭和62年4月9日までの出生者)で、平成18年12月29日からひきつづき福智町に住居基本台帳の登録がある人。
※ 県の選挙権を有する人が県内のほかの市町村に住居異動した場合は、異動日で投票所などが違ってきますので、選挙管理委員会にお問い合わせください。

福智町議会議員選挙

投票日▶ 4月22日(日) 7時～20時

投票できる人▶ 満20歳以上(昭和62年4月23日までの出生者)で、平成19年1月16日からひきつづき福智町に住居基本台帳の登録がある人。

未来のためにあなたの一票



期日前・不在者投票

県知事・県議会議員選挙

期間▶ 4月7日(日)まで
場所▶ 金田保健センター(金田駅裏付近)
時間▶ 8時30分～20時まで

福智町議会議員選挙

期間▶ 4月18日(日)～4月21日(土)
場所▶ 金田保健センター
時間▶ 8時30分～20時まで



投票所	投票対象地区
第1投票所/金田体育館	旧金田町管内
※ 旧金田町管内の投票所は、駐車場確保などのため、今までの金田小学校から変更しています。	
第2投票所/方城中学校	伊方地区(一部除く) ※旧方城町で中学校での投票者
第3投票所/方城支所	伊方地区の一部、弁城 ※旧方城町で役場での投票者
第4投票所/上野小学校	上野地区
第5投票所/中央公民館	赤池地区、市場地区
第6投票所/中央公民館	中尾地区、赤池ニュータウン地区

広報紙配布を業者委託から行政区配布に見直します

旧町では行政区が行っていた広報紙配布や文書回覧ですが、福智町ではシルバー人材センターに委託して配布しています。町内の全世帯と全事業所に行き渡ることや発行後数日のうちに確実に情報が伝えられることから行っていたものですが、このことについて、住民から多くの意見や批判が寄せられ、また1回約47万円の経費もかかるため、町ではその配布方法の見直しを検討してきました。現在、行財政改革の答申を踏まえ、経費節減を図るために、合併前の方法で配布していただくよう提案しています。今後、各行政区の総会が終了する6月ごろの実施に向けて準備を進めています。住民のみなさんにはご迷惑と負担をおかけしますが、行財政改革の推進のために、ご理解をお願いいたします。

全世帯に行政区への加入をお願いします

町では全世帯のみなさんに行政区への加入を呼びかけ、自治会が設置されていない地区に組織の新設をお願いしています。今後、行政区に未加入の世帯には、町が発行する広報紙や回覧が届かないこともあります。地域と町の活性化のため、協働のまちづくりを進めるためにも、ぜひご協力いただきますよう、お願いいたします。

役場総務課 庶務係 ☎ 22-0555

そこが気になる。
ここが変わる。
町の情報紙



Public Relations No.16 April 広報ふくち

4月から毎月1回の発行となる「広報ふくち」。行政情報や住民のみなさんの姿など、町の動きをより早く、より多く、より楽しく見ていただけるよう、紙面の充実に取り組んでいます。この機会に、今後の広報の方向性と今までに寄せられたご意見やご質問に対する答えをお知らせします。

フルカラーは「ぜいたく」なのでは？

まず、平成18年度の「広報ふくち」の発行経費を一覧ください。新町の情報量の多さからページ数は増えていますが、旧町合計に比べ、格安で発行していることがお分かりになるかと思いますが、

町名	発行部数	平均仕様	金額	一部単価
合併前	旧赤池町 (約2か月に3回発行)	20ページ (カラ-4、2色 16ページ)	320,000円	88.89円
	旧金田町 (毎月1回発行)	20ページ (カラ-2、2色 18ページ)	318,500円	98.00円
	旧方城町 (2か月に1回発行)	20ページ (カラ-4、1色 16ページ)	409,500円	163.80円
	旧町合計	20ページ	1,048,000円	平均単価 112.09円
現在	福智町	20ページの場合 (フルカラー)	350,000円	31.80円
		36ページ (フルカラー)	589,000円	53.55円

モノクロ(黒一色)印刷にすれば、さらに経費は落ちますが、近年は印刷機械がカラー化しているため、従前ほどの差額は生じないような状況です。その費用対効果を想定したとき、カラーの方がより

広報紙にとじ穴を開けた場合の経費は、1号あたりおよそ7万円、18年度実績(15回発行)だと年間約105万円かかります。また、穴の位置が写真にかかったときに、人の体の部分に重なる場合もあるため、レイアウトが大幅に制限されることも理由の一つです。保存する際に何かと不便かと思いますが、みなさんのご理解をお願いいたします。ただし、編集に際しては、今後もみなさんに保存していただけるような広報紙づくりを目指していきます。

タイトル(表題)の英文字が読めない

創刊以来、広報紙の表紙タイトルに「FUKUCHI」と掲げていますが、当初は「何の印刷物か分からない」というご意見をいただきました。この表題は「若年層の広報紙ばなれ」という課題に対応するため、さまざまな印刷物を参考にして考案したものです。創刊後1年が経過し、号を重ねることに定着感も増しているようです。しかし、これが福智町の広報紙だということをさらに認識していただくため、今月号から「広報ふくち」の文字を工夫して、改善を行っています。また、紙面中に英文字を使用することがありますが、これはアクセントやイメージ効果のために配置しているもので、訳して読む必要はありません。

紙質が厚くて良すぎるのでは？

18年度(今月号まで)の「広報ふくち」に使用している紙は、以前より厚いものとなっております。これは、紙が厚いから金額が高いわけではなく(薄くても高い紙質もあります)、発注している業者が大量に取り寄せた紙が必然的に価格も安くなることから、現在の紙を使用しています。ただし、印刷業者によって紙の価格は変動しますし、配布の方法も変わることから、平成19年度(来月号から)に使用する紙質は、配布時の負担を軽くするため、薄いものにするよう検討しています。

とじ穴を開けて欲しい

旧町では、広報紙に2か所のとじ穴を開けていたのが「広報ふくち」では開けていません。これは、穴を開ける経費とそのための日数がかかることから、現在のようにしています。

毎月1回の発行に

町では、経費削減のため、隔月(偶数月)の増発を廃止し、平成19年度からは月に1回の発行とします。発行回数は減ることになりますが、情報の量・質ともに低下させないよう、編集していく方針です。

ホームページもリニューアル

また、町のもう一つの情報提供媒体であるホームページも平成19年度中に大幅な改善を行う予定です。内容の充実・更新など、運営面も含めて、町内外のみなさんに、より活用いただけるよう、素早い情報発信と向上を図っていきます。

住民と行政との間を身近な情報でつなぐ広報紙。行財政改革大綱答申にも示されたように、今後「行政の説明責任」や「情報の共有化」を果たす役割がますます求められてきます。「広報ふくち」に寄せられる声が多いということは、それだけみなさんに「読んでいただきたい」ということだと受け止めています。読まれないならば反省もいただくことはできません。今後みなさんにとっての一番身近な情報紙を目指して、福智町の姿を綴っていきます。「広報ふくち」に関する情報やご意見、ご感想をお待ちしています。

役場企画課 広報・広聴係 ☎ 22-0555

高園酒店のひな祭り 昭和初期の思い出を店内初展示

明治23年創業の高園酒店(赤池)で、昭和初期のひな人形が2月下旬から飾られました。数年前、倉庫の奥で偶然見つかったというこの人形は、高園キヌ子さんの長女・タツ子さんの誕生時(昭和15年)にそぞえられたもの。タツ子さんは初めての桃の節句後に亡くなりましたが、その思い出の写真とともに鮮やかなひな飾りが店内を彩りました。



↑歴史あるひな飾りとご家族。右から高園キヌ子さん、娘の久仁子さんと洲上福恵さん

↓今までの給食に感謝しながら、親子で楽しいひと時を過ごしました。



宝見保育園バイキングパーティー おいしさとうれしさに満腹に

「おいしい給食を食べて大きくなりました。ありがとうございます」。もうすぐ卒園するぞう組さんの感謝の言葉で始まった宝見保育園のバイキングパーティー。2月22日にその保護者を招待し、およそ65人で15種類の給食メニューを囲みました。大好きな料理を自分やお母さんにお皿ついでりして、おいしさとうれしさに満腹になった一日でした。

↓大学のほか母校や自宅でも稽古に励む松尾嘉代子さん(福岡弓道場)



松尾嘉代さんが全国大学弓道選抜大会に出場 全国という的を見据えて

九州産業大学弓道部1年の松尾嘉代子さん(赤池)が、昨年10月の九州学生弓道選手権大会で団体優勝し、6月に行われる全国大学弓道選手権大会に出場します。「団体戦はチームワーク、お互いをカバーしあえるよう一致団結します。そのため、まず自分のレベルアップを心がけていきたい」と、大会に向けた毎日の稽古で、集中力を研ぎ澄ましていました。

↓「川をきれいにしていこうから、4年後また会おうね」みんなで清掃した川に稚魚を送り出す生徒たち。



4 河川清掃・サケの稚魚放流 年後元気に戻っておいで

3月17日に赤池中1年生および保護者120人が参加し、ひこさんがわ夢の会のみなさん42人を迎えたPTA親子ふれあい交流会が行われました。市場小付近の河川敷をみんなで清掃し、水質について学習。その後、嘉麻市のボランティアグループから提供されたサケの稚魚3千匹を放流しました。バケツから元気に飛び出し、ふるさとの彦山川から海へと旅立っていった稚魚たち。立派なサケに成長する4年後、元気に帰ってきて欲しいですね。

上野小学校ボランティア清掃活動 卒業生のために校区が呼びかけ

上野小の清掃活動が、3月14日に行われました。「卒業生に美しい学舎を心に焼き付けて巣立って欲しい」と上野1区から4区の区長会と老人会が企画。突然の呼びかけに、約50人が参加しました。3時間ほどの作業で敷地内の草取りや庭師による樹木の剪定が行われ、この日みなさんが浮かべた笑顔のように、学校もすがすがしい姿になりました。



↑清掃活動に参加した上野地域のみなさん。上野小学校と福智山を背景に。

第17回 全日本総流派空道選手権大会 拳成館が全国の舞台で好成績

拳成館(山口忠信館長・伊方)主催による全日本総流派空道選手権大会が3月11日に田川市総合体育館で盛大に開かれ、全国から102団体881人が出場しました。防具なしの実戦スタイルでレベルの高い試合が展開され、拳成館からは12人が入賞、次のとおり好成績を収めました。

【幼年・年長の部】2位:河津聖也【小学2年生の部】優勝:小山九十九【小学3年生の部】2位:山口達真、3位:焼山大雅【小学3~4年生女子の部】2位:香月海優【小学5年生の部】優勝:香月海輝斗、2位:笹栗凜人【小学6年生の部】優勝:松岡凌也【中学1年生の部】2位:大塚宏樹【中学2年生の部】優勝:空閑翔悟、3位:大塚佑樹【高校生重量級の部】優勝:竹下悟(敬称略)



↓力強いアタックと絶妙なブロックが連発した「青年の部」の決勝戦。



地区の仲間と息の合った連携プレー 男女混合インディアカ大会

金田・神崎地区の男女混合インディアカ大会が、3月11日に金田体育館で行われました。旧金田町の地区公民館対抗行事として、長い間続けられてきたこの大会は、今回で21回目。男女2人ずつで構成されたチームが、いずれも息の合った連携プレーで接戦を繰り広げました。優勝チームは次のとおりです。【一般の部】宝見A【青年の部】宝見



中山 優心くん 1歳
平成18年4月7日生まれ
(井城 浄万寺・男の子)



熊谷 実桜ちゃん 1歳
平成18年4月7日生まれ
(金田 人見・女の子)



松崎 優斗くん 1歳
平成18年4月5日生まれ
(神崎 福吉・男の子)



立石 彪くん 1歳
平成18年4月5日生まれ
(上野 原・男の子)



大島 瑠雅くん 1歳
平成18年4月5日生まれ
(赤池 ひまわり・男の子)



谷口 彩翔くん 1歳
平成18年4月4日生まれ
(金田 平原団地・男の子)



太田 有姫ちゃん 1歳
平成18年4月4日生まれ
(井城 新町・女の子)



久田 斗輝くん 1歳
平成18年4月26日生まれ
(神崎 福吉団地・男の子)



方志 純菜ちゃん 1歳
平成18年4月24日生まれ
(伊方 東古門・女の子)



林 花香ちゃん 1歳
平成18年4月22日生まれ
(金田 高見団地・女の子)



小野 聡哉くん 1歳
平成18年4月22日生まれ
(神崎 若草団地・男の子)



船川 次郎くん 1歳
平成18年4月14日生まれ
(金田 高見団地・男の子)



池田 葵くん 1歳
平成18年4月11日生まれ
(上野 板取・男の子)



福本 桃花ちゃん 1歳
平成18年4月8日生まれ
(金田 新町・女の子)



西元 鼓道くん 1歳
平成18年4月7日生まれ
(赤池 町管伏原・男の子)



松津 陽くん 3歳
平成16年4月13日生まれ
(赤池 松本・男の子)



亀田 大夢くん 3歳
平成16年4月12日生まれ
(赤池 県営伏原・男の子)



原田 颯土くん 2歳
平成17年4月28日生まれ
(伊方 公園通り・男の子)



森 大智くん 2歳
平成17年4月22日生まれ
(神崎 神崎1・男の子)



柿原 愛佳ちゃん 2歳
平成17年4月19日生まれ
(神崎 福吉・女の子)



奥山 獅凰くん 2歳
平成17年4月19日生まれ
(神崎 星ヶ丘団地・男の子)



小松 優凜ちゃん 2歳
平成17年4月4日生まれ
(赤池 南町・女の子)



小峠 颯太くん 2歳
平成17年4月4日生まれ
(神崎 福吉団地・男の子)

金田ジュニアクラブ優勝まであと一歩



第1回筑豊地区スポーツ少年団軟式野球交流大会が田川市民球場で2月25日、3月3日に催されました。筑豊地区の28チームが参加したこの大会で、決勝まで勝ち抜いた金田ジュニアクラブ。棕本ファイターズとの決勝戦では、7点差にねばり強く追いついて延長戦まで持ち込み、再びの3点差も執念で追いつきましたが10-10の同点で試合終了。勝敗は抽選に委ねられ、結果は惜しくも抽選負けでした。しかし、最後まであきらめないねばり強さは次回につながる収穫でした。

心も弾むコンサート

2月24日、地域交流センターで第一保育所と中央保育所合同のひな祭りコンサートが行われました。きく組さん(4歳児)とすみれ組さん(5歳児)56人が音楽教室で練習した歌と合奏を披露。おなじみの童謡からみんなが大好きなトトロまで、楽しい音楽を全体で表現していました。

↑大きなお口を開けて歌唱

パパ・ママ、こんなに大きくなったよ

3月に赤池福祉会の4保育所(上野・市場・赤池・中尾)で生活発表会が行われました。わが子の発表を見ようと、カメラやビデオを片手にたくさんの保護者が参加。園児たちは、森の動物や宇宙人、おひやくしようさんなど、年齢ごとのテーマで活動し、保護者らは子どもの成長した姿に目を細めていました。



↑サーカス団のお友達は数々の特技を披露

豊かな体験活動推進校

伊方小学校



えがおで あいさつ
うつくしい ことば
みんな なかよく

〒771-0101、きめ細かい指導

市場小新校舎建設のため、学校紹介の順番が変更になりました。



豊かな体験活動

平成18度から19年度にかけて、文部科学省「豊かな体験活動推進校」の指定を受けて実践しています。18年度は1年目ということ、各学年の教育課程の中に年間を通して次のような体験活動を位置づけて実践してきました。1年生から4

学力向上の取り組み

本校では、指導方法工夫改善教員2人、学校課題解決のための特別非常勤講師1人が配置されています。この3人の教師が、低・中・高学年に分かれたチーム・ティーチング（T-T）として学力補充に取り組んでいます。その方法は、算数の学習を中心に、①分割授業 ②コース別学習 ③パワーアップ学習 ④ミニパワーアップ学習 ⑤個別学習とさまざまです。特にミニパワーアップ学習では、単元の途中で小さなプリント（1枚のプリント4問〜5問）のつづりを与え、自分の力でどんどん進めていきます。できたと同時にマルつけをし、どこが間違えているのかを確かめながら、色々なシールをもらっていきます。子どもたちは、算数が大好きになってきました。「学校が楽しい。毎日の勉強が体育と算数だったらいいの」という声が聞かれます。



校歌

一、ひらけ行く世におくれじと
心のまににむちうちて
学びの道を いそぎつ
われらがみま、まなひやの
とうろはいすこ 田川なる
伊方の里の鶴ヶ丘

二、地は高くして いえなく
みねにたなびく 春がすみ
野山をかざる 秋もみじ
直垂しける 夏の日や
雪白砂の 冬の朝

三、世に尊ばる 誠突は
天地にはじめ 心にて
ものい、いそむ 勤勉は
事をとへき もといなれ
誠突礼儀 身にしみて
朝を夕なにおこたるな

所在地 福智町伊方 3922 番地 ☎ 22-0127
学校長 矢野治彦 ■教職員数 27人 ■学級数 12学級 ■児童数 326人

今日は

↓6年生がリーダーシップを発揮。七夕集会以の縦割り活動。



年生では、年間を通して野菜作りを行いました。植えた野菜は、春になすび、ピーマン、オクラ、ツルレイシ、夏にサツマイモ、カボチャ。秋に大根、聖護院カブ、野沢菜、ホウレンソウ、白菜などです。学校の農園では、いつも野菜がたくさん実っていました。子どもたちは毎日献身的に野菜の世話してくれます。だからこそ、収穫をしたときの喜びはひとしおです。その他にも、5年生では、もちろの田植えから収穫。そしてもちつき大会、あられ作り。6年生は、職場体験活動や

↓後輩たちの感謝の気持ちに笑顔がはじける。アーチをくぐって退場する6年生。



6年生を送る会 みんな笑顔でパトントッチ

3月1日体育館で6年生を送る会が催されました。下級生は、今まで伊方小をリードしてくれた6年生に対して感謝の気持ちを込めて歌や合奏を披露。6年生も力強い合奏と歌でこれに応え下級生にエールを送りました。お互いの心を込めた集会は、みんなの心に残るすばらしいものでした。



- 1 地域の人びとのかかわり、働くことのよろこびと大変さを学んだ職場体験学習。
- 2 「楽しみだね、早く食べたいな」自分たちで収穫した野沢菜を漬けるの。
- 3 「ホタルの里大作戦」伊方川の水質検査。
- 4 5 自分たちが植えて収穫したもち米でもちつき大会。地域のみなさんと交流。



一人ひとりを大切に

伊方小学校の6年生は、学校機関車として、全校のリーダーとして、様々な場面で力を発揮してくれました。6年生を中心とした子どもたちどうしのきずなを深める縦割り活動を充実させています。最上級生としての活動は、5年生の3学期から取り組み開始です。毎年2月に行われる新1年生の体験入学でのお世話

から始まり、1年生入学時には6年生が分団登校、読書の時間の読み聞かせ、給食、掃除、歓迎集会など色々とお世話していきます。

この他にも全校集会以の企画や運営、七夕集会以の縦割り活動のお世話、運動会での方城音頭の指導、スポーツ集会以の企画運営などさまざまな場面で低学年の児童の指導をしてくれています。6年生の姿をよいお手本として、一人ひとりが輝き、大切にされる学校づくりにしていくことを目標としています。

春の山姿はのぼの明けてきし
天神の給馬折からの東風に揺れ
梅花藻の揺れて明るき瀬音かな
母の忌や香煙ゆらぐ涅槃西風
雑木山春禽の声湧くごとし
花菜摘みはしやくひ孫の髪飾
軽やかに我を追ひ越す春の風
春の空飛行機雲の彼方まで
映像に見る月山の名残霜
白子千その日の内に食卓に

隣保館・みのり句会

池田一步選

宇野美奈子
皆川 和子
大久保幸子
熊谷カツミ
末松トモ子
久松ミサオ
本島真知子
東 洋子
持九テル子
柴田ヒサエ

灯台は島のシンボル春光す
竹林のおどろき易き風二月
地虫出づ長寿の里の寿ぎに
野を焼きて露座仏裾を焦がしたる
さらさらと音を流して春の川
源平の満珠干珠の島邊日
陵へ走る畦火の叩かるる
鳥の声聞きつつ朝寢楽しめり
一湾を出て春光のボンボン船
竹垣の男結びや春光す

福智町金田公民館俳句教室

岩井竜童選

日比生利子
永尾喜美江
建部三由紀
松岡 蔦枝
香月 富子
大井 良治
長副美恵子
迫田 昌子
今井三千代
花石かはる

火をつけし如く牡丹の芽のほぐれ
水澄む川面の鳥の立つ気配
瀬戸内の風の甲板舟へ返る
春雨や草美しき庵跡
由布岳の紫煙る二月尽
野梅咲く道は山辺の懐に
野鳥待つカーテン越しに梅の花
もの芽や八十路と謂へど身嗜み
飛行雲伸び行く高き鳥帰る
老い我の句会へ急ぐ霜の道

方城句会

池田一步選

選 者
波辺 一枝
白石 凡子
尾崎 和子
藤井耿之介
野村 鈴子
杉 フジエ
白石 鶴代
松本美根弥
永末 公恵

福智町金田短歌教室詠草

ロボットが人の子産むのか大臣は垂乳根の母を機械と言ひき
千の風吹き渡る空見上げつつ転ばぬやうに老ひてゆかむや
五十回忌過ぎて幾日か逝きし子を負ひたる夢に覚めておどろく
菜の花にたんぼの花に蝶が舞う現と思えぬ暖かき冬
西空に連なる月と明星を背にしてゆきぬ弓道場へ
庭なかにひそとほころぶ一輪の化身ならむや水仙淡し

岡野富司生
山口 倭子
佐竹喜久雄
越智 早苗
福田 昌
藤野もと子

投稿傑作



←絵画教室「青陽会」の作品。
「彦山川の河川敷に咲いていた菜の花を摘んできて描きました。季節の花や、町内の風景などを題材にしてみんなで楽しみながら描いています。」

→障害者共同作業所準備会「てんだあはうす」の皆さんの作品。
全長10cmほどのつる。紙を小さく折り重ねて作りました。



▶絵や写真、工作など、みなさんの力作を紹介します。
〒822-1292 福智町金田 937 番地 2 福智町役場企画課広報広聴係
まで作品を郵送または持参してください。
応募者多数の場合は掲載できない場合もありますのでご了承ください。

Disease prevention ▶ No.11 ふくちの健康 お悩み相談所

肺炎のワクチンがあると聞きました。それはどんなものですか？

それはおそらく「肺炎球菌ワクチン」のことですね。肺炎の原因にはウイルス性・細菌性などがありますが、細菌性の中で最も多い「肺炎球菌」に対するワクチンです。肺炎球菌には80種類以上の型がありますが、このワクチンではそれらのうち感染する機会の約8割を占める23種類の型に対して免疫をつけることができ、1回の接種で効果が5年以上持続します。

このワクチンは65歳以上の高齢者や、心臓・呼吸器・肝臓・腎臓などに持病がある人、糖尿病の人などにお勧めしています。ただし、ごく一部の人（脾臓を摘出した患者さん）以外は自費となります。また、残念ながら乳幼児には効果がありません。

このワクチンの副反応として、注射部位の腫れや痛み、ときに軽い熱がみられることがありますが、1~2日で消失します。比較的安全に接種できると言えるでしょう。また、過去にこのワクチンを受けたことのある人は、再接種できないことにも注意が必要です。



コーナー担当医：方城診療所 牟田広美副所長

健康に関するお悩みにアドバイスします。企画広報・広聴係まで電話かメールでお気軽にお寄せください。☎22-7766 s.kouhou@town.fukuchi.lg.jp

児童センター・子育て支援センター

児童センターってどんなところ？

児童センターは、18歳未満の子どもたちを対象にした「遊び場」です。雨の日も、室内でスポーツなどを楽しめます。センターの利用は無料で幅広く子どもたちを受け入れています。

特徴

- ※土日・休日・平日の放課後にあそべます。
- ※エアロダンス、和太鼓、茶道など、小学生を中心としたクラブ活動を行っています。申込書は町内の各小学校で配布します。ぜひ一度、見学に来てみてください。
- ※2か月に1回程度、ウォークラリーなど「親子で参加」の行事を行います。行事の日程などはこのコーナーでお知らせします。



☎ 22-7403
休館日 毎週 四、第3回
☎ 22-2401
サロン開放 10:00~15:00 休館日 日、月、祝

地域子育て支援センターとは

就学前の子どもをもつ保護者に対し、育児相談や子育てにかかわる情報提供を行う子育て支援センター。サロンの開放なども行っています。



4月の行事予定 Child care support

- 12日※ サロンであそぼう
 - 19日※ 親子でリズムあそび
 - 27日※ 誕生会
- ※いずれも10:00受付、10:15開始です。



2007 飯塚国際車いすテニス大会 福智町役場福祉課福祉係

開催予定日 5月15日(四)～19日(日)
金田会場開催予定日

5月15日(四)～18日(日)

◆福智町車いすテニス国際交換会

開催予定日 5月18日(日)

詳しくは5月号の広報で掲載します。

☎ 役場福祉課福祉係 ☎ 22-7763

新型車両4月運行開始!

平成筑豊鉄道株式会社

平成筑豊鉄道では、みなさまのご支援により4月8日(日)から新型車両3両を運行開始します。今後もみなさまのご愛用をお願いいたします。運行開始の日程などは、変更になることがありますのでご了承ください。
☎ 平成筑豊鉄道 ☎ 22-1000

福智獅子舞会会員募集

福智獅子舞会



福智獅子舞会は、かつて行われていた上野の獅子舞を復興するため、2年前に発足した保存会です。伝統行事を守るために活動してきましたが、現在は会員が減り、獅子舞ができない状況になっています。そこで、活動を途絶えさせないためにも一人でも多く会に参加していただきたく、会員を募集いたします。年齢や男女は問いません。どうぞお気軽にお問い合わせください。

練習日 毎週(日)19時～(大浦隣保館)

☎ 福智獅子舞会(木村)

☎ 090-1346-2680

歯の健康展および休日診療日

田川歯科医師会

▼第25回歯の健康展

日時 5月27日(日)9時30分～12時
13時～15時30分

場所 田川市総合体育館

内容 歯の健診、スタンプラリーなど

▼平成19年度の休日診療日のご案内

場所 田川口腔衛生センター

時間 9時～12時

診療日 5月3日～5日、7月16日、

9月17日、10月8日、12月30日～

平成20年1月3日、1月14日

☎ 田川歯科医師会 ☎ 42-3095

補聴器相談

福智町役場福祉課福祉係

日時 4月9日(日)13時～14時

会場 福智町方城支所

日時 4月9日(日)15時～16時

会場 福智町赤池支所

日時 4月13日(日)9時～10時

会場 福智町本庁舎

☎ 役場福祉課福祉係 ☎ 22-7763

福岡県巡回交通事故相談

福岡県交通事故相談所

日時 4月16日(日)10時～16時

受付は15時まで、秘密厳守

会場 田川市役所(市民課)

☎ 44-2000

☎ 福岡県交通事故相談所

☎ 092-622-0403

介護サービス情報の公表制度

介護サービス情報公表センター

介護サービス事業所選び支援します!

4月から「介護サービス情報の公表」が始まりました。これは利用者が介護サービスや事業所・施設を比較検討して適切に選ぶための情報を提供するしくみです。ぜひご利用ください。

☎ 介護サービス情報公表センター

☎ 092-584-3600

<http://www.fsw.or.jp/kohyo/top.html>

伊方古墳を公開します

福智町役場生涯学習・人権同和教育課



日時 4月21日(日)～4月22日(日)

9時30分～16時

※現地まで直接受け付けます。

▼遠賀川流域の古墳も同時公開

王塚古墳(桂川町)、川島古墳、小正西古墳、沖出古墳(飯塚市)、竹原古墳(宮若市)、水町遺跡群(直方市)、建徳寺2号墳(大任町)、夏吉古墳群(田川市)
☎ 役場生涯学習・人権同和教育課
生涯学習係 ☎ 28-2119

労働保険年度更新手続

福岡労働局総務部労働保険適用室

労働保険(労災保険・雇用保険)に加入している事業主は、労働保険料の年度更新手続が必要です。平成19年度は、5月21日までに終わらなければなりません。期間中は県内各地で現地受付も行います。年度更新の手続は、インターネットで電子申請を行うこともできます。詳しくは「労働保険適用徴収・電子申請お知らせページ」(<http://ip.roho-chosyu.mhlw.go.jp>)をご覧ください。

※すべての労災保険適用事業主を対象に「石綿健康被害救済法」に基づく一般拠出金の徴収が始まりました。

☎ 各労働基準監督署又は福岡労働局総務部労働保険適用室
☎ 092-434-9833

危険物取扱者試験

(社) 田川地区防災協会

受付期間 4月12日(日)～5月1日(日)

試験日 6月17日(日)

試験会場 近畿大学産業理工学部

☎ 田川地区防災協会 ☎ 44-6256

C型肝炎相談・検査事業

田川保健福祉環境事務所

肝がん患者の約70%は、C型肝炎が原因であるといわれています。C型肝炎は無症状のまま進行することが多いので、検査して早期発見することが大切です。保健福祉環境事務所では、下記の日程でC型肝炎検査を無料で実施しています。

日時 毎週(日)(祝日・年末年始を除く)9時～11時

場所 田川保健福祉環境事務所

※前日までに予約が必要です。

☎ 田川保健福祉環境事務所

☎ 42-9345

保育所・学童保育クラブ入所募集

福智町役場福祉課福祉係

平成19年5月以降、受け入れ数に余裕がある保育所および学童保育クラブについては、随時入所児の募集を行います。入所日は原則1日付で、月途中の入所は行いません。なお保育所については、家庭事情などの条件を満たしていればこの限りではありません。内定確認は、各保育所および各学童保育クラブとの入所調整の確認後にお知らせします。

申込期限 入所希望月の前月20日
※土日などで閉庁の場合は、その前日までに申し込みください。

※必要書類が揃わないもの、締切後の申込みについては、希望入所日の審査対象になりません。

☎ 役場福祉課福祉係 ☎ 22-7763



国税専門官採用試験

福岡国税局・田川税務署

受験資格 ①昭和53年4月2日～

昭和61年4月1日生まれの人

②昭和61年4月2日以降生まれで、平成20年3月までに大学卒業、卒業見込および人事院が同等と認める人

受付期間 4月2日(日)～13日(日)

(13日(日)消印有効)

申込書の提出はできるだけ郵送(配達記録郵便扱い)をお願いします。

第1次試験 6月10日(日)

第2次試験 7月23日(日)～26日(日)

のうち指定する日

申込み問い合わせ先

田川税務署総務課 ☎ 42-0430

福岡国税局人事第二課

☎ 092-411-0031

未成年者飲酒防止強調月間

福岡国税局・田川税務署

お酒は二十歳になってから

4月は未成年者飲酒防止強調月間です。未成年者のあなた、アルコール飲料をジュースのように軽い気持ちで飲んでいませんか?

行政書士の無料法律相談

つるもと行政書士事務所

遺産相続、贈与、法人設立、遺言書、内容証明、各種契約書、官公署申請書作成などの相談を無料で受け付けます。秘密は堅く守ります。

☎ つるもと行政書士事務所

☎ 22-1672

行政書士交通事故無料相談会

福岡県行政書士会

内容 示談書・損害賠償請求書などの作成および保険請求手続きなど

日時 4月14日(日)10時～16時

場所 イオン直方ショッピング

センター(予約申込不要)

☎ 福岡県行政書士会

☎ 092-641-2501

みんなで力を込めて

子ども綱引き大会



2月25日に行われ、およそ100人が参加した子ども綱引き大会。選手もギャラリも手に汗握る熱戦でした。優勝は上金田B(写真)、準優勝は神崎1A、3位は上金田Cでした。

三彩会・青陽会作品展

三彩会・青陽会



期間 4月18日(日)～23日(日)

時間 10時～17時

(最終日は15時まで)

場所 上野焼陶芸館ギャラリー

☎ 高須 ☎ 28-5483

平野 ☎ 28-2445

かなだ朝市販売時間変更

福智町役場 産業振興課



4月からかなだ朝市の販売時間が変更になります。今後ともご愛用をお願いいたします。

販売時間 7時～12時まで

☎ 役場産業振興課

☎ 22-7767

福智町臨時職員登録受付

福智町役場総務課人事係

福智町では臨時職員の採用について、登録名簿を作成します。職員の欠員が生じた時にこの登録名簿の中から配属する職場の状況、登録者の経歴などを考慮して採用します。一般事務、保育士、調理員、看護師、土木技術員など、あらゆる分野で随時申し込みを受け付けます。

対象 18歳～50歳
申込場所 役場総務課人事係
申込書類 履歴書(郵送可)
役場総務課人事係
 ☎2210555

ホームヘルパー養成研修

福智町役場福祉課福祉係

ホームヘルパーサービスに従事しようとする人などが対象です。
日程 7月8日、11月11日の
 毎週回(うち実技5日)
実習 11月12日(日)～平成20年1月25日(金)の間の平日4日間
募集定員 7人
 ※申込者多数のときは抽選
受講料 2万円(別途健康診断書経費1万円程度必要です)

申込み締切 5月18日(金)
 ※申込書は福祉課窓口へ設置
福智町役場福祉課福祉係
 ☎2217763

水質検査と結果の閲覧

田川地区水道企業団事務局

田川地区水道企業団は、赤村にある浄水場で1日当たり約1万4千7百トンの水道水をつくり、田川市や福智町に毎日送っています。皆さんに水道水を安心して利用していただくため、大腸菌やごり、色など50項目の水質検査を定期的に実施しています。この水質検査計画とその結果を水道課の窓口、水道企業団事務局で閲覧できます。また、浄水場の施設見学もできます。
田川地区水道企業団事務局
 ☎4115000



我武者羅「LEVEL4」

ケースワールド

福智町中央公民館で総合格闘技イベント「我武者羅」が開かれます。福智町内からも選手が出場する予定。豪華景品が当たるゲームもあります。
日時 4月29日(日)14時30分開場
 15時30分競技開始
場所 福智町中央公民館
ケースワールド
 ☎094818212955

緑ヶ丘病院診療日時変更

糸田町立緑ヶ丘病院

4月から、緑ヶ丘病院小児科の診療曜日と時間が次のようになり変わります。
困 ① 午前：9時～11時30分
 ② 午後：15時～16時30分
田川町立緑ヶ丘病院
 ☎2601111

筑豊市民大学生募集

筑豊市民会連合委員会

期間 5月～平成20年3月
場所 福岡県立大学、その他会場
年間1万円(重複受講可)

第37回田川郡民登山会

福智町中央公民館



日時 5月13日(日) 参加無料
 9時30分集合
集合場所 香春町呉タム溪流公園駐車場
目的地 香春町大坂山
申込期限 4月23日(日)
 ※要項・申込書は福智町中央公民館に用意しています。
田川町中央公民館
 ☎28-4100

初級・中級韓国語講座

財団法人飯塚研究開発機構

日時 4月13日～8月31日の
 毎週(日)19時～21時
場所 飯塚研究開発センター
募集定員 20人
受講料 2万円(テキスト代含)
飯塚研究開発機構
 ☎0948211156

幹部候補生採用試験

自衛隊福岡地方協力本部

受験資格
 20歳以上26歳未満の人(22歳未満の人は大卒※見込み含む) 大学院修士課程修了者は28歳未満の人
受付期限 5月11日(金)まで
一次試験 5月19日(日) 20日(日)20日は飛行要員のみ
試験会場
 福岡経済大学(旧第一経済大学)
自衛隊飯塚地域事務所
 ☎09482214847
 役場総務課消防防災係
 ☎2105555

キャンプを集めています

ボランティアサークル乙女座

アフリカやアジアの貧しい国では、1秒間に3人が飢えや病気で亡くなるという、豊

かな国で育った私たちには想像もつかないことが起きています。ゴミとして捨てられるペットボトルのキャップは、ワクチンと交換することができ、回収箱は町内の各公共施設に設置する予定です。誰にでもできるボランティア、ご協力をいただければ幸いです。
ほのぼのの館
 ☎2616290

心配ごと相談

福智町社会福祉協議会

1日時 4月7日(日)10時～15時
会場 コスモス保健センター
2日時 4月14日(日)10時～15時
会場 方城福祉会館
3日時 4月21日(日)10時～15時
会場 金田社会福祉センター
 ▼司法書士による特別相談日
福智町社会福祉協議会
 ☎266631

固定資産税課税期間

福智町役場総務課課税係

固定資産税が課税されている土地または、家屋の評価額などを記載した「縦覧帳簿」を縦覧できます。手数料無料。
期間 4月1日から5月31日まで(日(祝)を除く)
8時30分～17時15分
場所 本庁事務課
 各支所住民生活課

縦覧できるもの

土地価格等縦覧帳簿(所在番地、地目、地積、価格が記載)、家屋価格等縦覧帳簿(所在番地、番号、種類、構造、床面積、価格が記載)
縦覧できる人
 町内に土地、家屋を所有し、税金負担のある人(土地、家屋のいずれか一方の資産を所有している人は、その資産のみの縦覧) 本人確認が出来るものと

身体障害者巡回相談

福智町役場福祉課福祉係

日時 5月23日(日)
9時30分～14時30分
会場 糸田町住民センター
相談内容
 ① 肢体不自由者の補装具費の新規支給・再支給、修理の要否判定、処方及び適合判定
 ② その他障害者福祉サービスなどに関する相談
 ▼電動車いす、重度障害者用意志伝達装置については相談のみ。耳鼻咽喉科の相談、聴覚障害にかかると身体障害者手帳の診断書作成や、補聴器の正規支給・再支給、修理の要否判定は行いません。肢体不自由についても身体障害者手

河川愛護モニター募集

遠賀川河川事務所占用調整課

帳の診断書作成は行いません。ご持参のもの
 ① 印鑑・身体障害者手帳・補装具費再支給の場合は、前回支給された補装具・補装具修理の場合は、修理の必要な補装具
 ▼指定以外の会場に行かれる場合は、事前にご連絡ください。
田川町福祉課福祉係
 ☎2217763

活動内容 河川に対する意見報告や愛護活動への参加など
応募資格 20歳以上で河川愛護に関心のある人
任期 7月1日から1年間
報酬 月額4580円程度
募集人員 各募集区間1人
応募締切 5月14日(日)必着
遠賀川河川事務所
 ☎09491221830

Topics

おもしろカタチの大根
 田中秀徳さん(弁城)が収穫



「珍しい大根が採れた」とのうさを聞き、畑で収穫した田中英徳さん(弁城・春田)に見せていただきました。先の方が三又に分かれた、実におもしろいカタチの大根でした。

ほのぼの館におもちゃの寄贈
 県立田川科学技術高等学校



3月9日に県立田川科学技術高校のシステム科学技術科の2年生が作成した木工のおもちゃがほのぼの館に寄贈されました。ありがとうございました。

全国隣保館だよりコンテスト入賞
 福智町役場人権同和对策課ほのぼの館



全国隣保館だよりコンテストで、ほのぼの館が作成する「隣保館だより第1号」が優秀賞に輝きました。2月22日に熊本県益城町で開かれた大会に編集を手がけた山根祐子氏が出席、栄えある表彰を受けました。

健診へ行こう！

「個別健診」「集団健診」申し込みの際の注意事項

- 1 個別の案内通知は行いませんので、申し込み方法をご覧のうえお申し込みください。
- 2 いずれの健診も完全予約制です。
- 3 同じ項目を1年間に重複して受けることはできません。
- 4 申し込みが多い日時・時間帯につきましては、**申し込みの先着順**になります。申し込みの期限内にお申し込みください。
- 5 本年度、学校や職場で健診を受けた人は「受けていない項目」については受診できます。
- 6 がん検診で「要精密」となった人で、まだ受診をされていない人は、直接医療機関を受診してください。
- 7 70歳以上、生活保護世帯、非課税世帯、65歳～69歳の老人医療受給者の人は、全ての健診が無料です。(胃カメラは有料)
- 8 **所得状況の申告をされていない場合は**、税情報の確認ができませんので健診料金は有料になります。
- 9 町で受ける肝炎ウイルス検診の受診機会は**1回**です。**以前に一度受けられた人は対象になりません。**
- 10 乳がん検診、子宮がん検診は**2年に1回**の受診となります。昨年受けた人は対象外です。
- 11 対象年齢の基準は、**平成20年3月31日現在**の年齢です。

個別健診 コスモス健診センター

ポイントは？

- 1 **年間通して**希望日に受けられます。(5月～来年2月)
- 2 **休日健診**があります。(毎月第3日曜日)
- 3 胃がん検診については、**胃透視検査と胃カメラ検査**の2種類から選ぶことができます。
- 4 受診当日、**医師による結果説明と栄養士による栄養指導**が受けられます。
- 5 **コスモス健診センター独自の健診項目**
 - ① 胃カメラ検査
 - ② 緑内障の検査(眼圧)
 - ③ 腹部超音波検査

昨年との違い

- 1 基本健診受診の人は全員**腹部超音波検査**が受けられます。
- 2 **胃カメラ検査**が受けられます。
- 3 健診開始月が**5月**になりました。

会場

コスモス健診センター

健診日

5月～2月の 月・ 火・ 水 (祝祭日を除く)、第3回
詳しくは36ページのカレンダーをご覧ください。

健診の流れ

- 1 「健診申し込みはがき」が**電話**でお申し込みください。
- 2 健診日の10日前までに、自宅へ健診セットをお送りします。
- 3 健診当日、受診の際に健診料金をいただきます。(料金・承諾書・問診票・痰・便をご持参ください)
- 4 医師による結果説明(当日にわかる健診結果)。
管理栄養士による栄養指導。
- 5 健診の1か月後、自宅へ健診結果をお送りします。

申し込み方法

⇒ 37～39ページをご覧ください。

集団健診 金田保健センター 方城保健センター

ポイントは？

- 1 **全項目を一度に**受診できます。
- 2 **土日の健診**があります。
- 3 健診会場を、6月に実施する**金田保健センター**、または10月に実施する**方城保健センター**のどちらかから選んで受診することができます。



昨年との違い

基本健診の対象年齢が「40歳以上」から「**30歳以上**」になりました。

会場

1 金田保健センター

2 方城保健センター (申し込み方法は8月ごろお知らせします)

健診日

1 金田保健センター

6月22日 水・23日 木・24日 金・25日 土

2 方城保健センター

10月12日 水・13日 木・14日 金・15日 土・16日 日

健診の流れ

- 1 「健診申し込みはがき」でお申し込みください。
- 2 健診日の10日前までに、自宅へ健診セットをお送りします。
- 3 健診当日、受診の際に健診料金をいただきます。(料金・問診票・痰・便をご持参ください)
- 4 健診の1か月後、健診結果説明会を予定しています。

申し込み方法

⇒ 40～42ページをご覧ください。



「健診へ行こう！」

幸せな毎日を送るために健康維持は欠かせません。新しい年度のスタート、今年も健康チェックを忘れずに、町の健診を活用してください。
今回はコスモス健診センター、金田保健センターの健診申し込みを受け付けます。

▼住んでいる地区にかかわらず、会場・受診日・健診項目を「コスモス健診センター(個別健診)」「金田保健センター(集団健診)」「方城保健センター(集団健診)」の3か所から選んで受けられます。(方城保健センターでの申し込み方法は8月ごろお知らせします)
▼例えば「子宮がん検診は金田保健センター、それ以外はコスモス健診センターで受診する」など、ご希望に応じて受診していただけます。
▼健康長寿は毎年の健診から。年に1回は必ず健診を受けて、がんや生活習慣病の予防や早期発見を心がけましょう。

【65歳以上のかたへ】基本健康診査を受けましょう

- ▶平成18年度から、65歳以上の人には、基本健康診査の項目に「生活機能に関する検査やチェック」が追加になりました。
- ▶「生活機能に関する検査やチェック」とは、運動機能(筋力など)、口腔機能(食べたり飲みこむこと)、栄養がとれているか、などの状態を知るためのものです。
- ▶健診の結果により、その人に適した介護予防に関する教室などをご紹介します。
- ▶健診は、自分の健康状態を知るための大切な機会です。いつまでもいきいきと過ごせるよう、ぜひ活用しましょう。

個別健診

コスモス健診センターでの健診について

問 コスモス健診センター ☎ 28-5512

日程

5月～2月の 月・火・金 (祝祭日を除く)、第3回

【受付時間】胃カメラを受ける人…8:00
基本健診を受ける人…8:30
がん検診のみ受ける人…9:30

会場

コスモス健診センター (福智町赤池 970 番地 1)

申し込み方法

受診希望日の2週間前までに、**はがき**または**電話**でお申し込みください。申し込みが多い日につきましては先着順です。
例えば 7月4日 受診希望 → 6月20日 宛までに申し込み

※ ↓ コスモス健診センター「個別健診」申し込み用はがき (表面)

39ページの内容をお読みになり、裏面に記入してください。はさみなどで切り取り、切手を貼らずにそのまま投函してください。

切り取り線

郵便はがき

料金受取人払

赤池局 承認 2

8 2 2 1 1 0 1

(受取人)

福智町赤池 970 番地 1

福智町立
コスモス健診センター
行

差出有効期間 平成20年 2月15日まで

切手をはらずにお出ください



郵便はがき

料金受取人払

赤池局 承認 2

8 2 2 1 1 0 1

(受取人)

福智町赤池 970 番地 1

福智町立
コスモス健診センター
行

差出有効期間 平成20年 2月15日まで

切手をはらずにお出ください



はがきで申し込む場合

次のページの「コスモス健診センター住民健診申込はがき」に必要事項を記入して、受診希望日の2週間前までに健診センターに着くようにポストに投かんしてください。

電話で申し込む場合

申し込み受付開始
4月2日 月 10:00～
コスモス健診センター ☎ 28-5512
予約受付時間 月～金 10:00～17:00

健診までの流れ

- 健診日の10日前までに、健診セットを自宅へお送りします。
- 料金は健診当日に、会場でお支払いください。できるだけおつりの出ないようにご準備をお願いします。

平成19年度 健診開催日 カレンダー

平成19年度は、次の日程で健診を行います。住んでいる地区にかかわらず、受診日を選べます。個別の案内通知は行いませんので、各自お申し込みください。



2007/6

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15★	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

★6月15日(金)…集団健診(金田保健センター)の、電話での申し込み締切

2007/9

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2007/12

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2007/7

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

2007/10

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2008/1

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2007/5

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11★	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

★5月11日(金)…集団健診(金田保健センター)の、はがきでの申し込み締切

2007/8

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

★集団健診(方城保健センター)の、申し込み方法は8月号広報でお知らせします。

2007/11

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2008/2

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

個別健診

コスモス健診センターでの健診について

☎ コスモス健診センター ☎ 28-5512

個別健診の検査項目

- 対象年齢の基準は、平成 20 年 3 月 31 日現在の年齢です。
- 子宮がん検診は、コスモス健診センターでは受けられません。
- 70 歳以上、生活保護世帯、非課税世帯、65～69 歳の老人医療受給者の人は、胃カメラ検査以外のすべての検診が無料ですが、所得状況の申告をされていない場合は、税情報の確認ができませんので健診料金は有料になります。
- 以下の項目を選んで受けることもできます。

検査項目	内容	対象	料金	
基本健康診査 ※印は、コスモス健診センターのみの項目です。	問診、身体・腹囲測定、血圧、尿検査、心電図、診察、血液検査、眼底、※緑内障の検査（眼圧）、※腹部超音波検査（肝臓・胆のう・すい臓・腎臓） ※健診当日、医師による結果説明、管理栄養士による栄養指導 ※65 歳以上の人は生活機能に関する検査項目	40 歳以上の男女	2400 円	
肺がん検診	胸部レントゲン検査 肺がん（痰検査）	胸部レントゲン撮影 かたん 痰検査（3 日分） ※必ず胸部レントゲン検査も申し込みください。	40 歳以上の男女 ① 50 歳以上で「1 日喫煙本数×年」が 600 以上の人 ② 40 歳以上で半年以内に血痰のあった人	600 円 1200 円
胃がん検診	バリウムによる胃部レントゲン撮影（固、困、空、第 3 回） 胃カメラによる検査（固、困、空） ※検査人数の都合上、別日の受診となる場合があります。 ※保険証をご持参ください。	40 歳以上の男女 40 歳以上の男女で次に該当する人 70 歳以上・生活保護世帯・非課税世帯・65～69 歳の老人医療受給者の人	1800 円 3800 円 2000 円	
大腸がん検診	検便（2 日分）	40 歳以上の男女	500 円	
乳がん検診 （2 年に 1 回の受診です）	視触診、乳房レントゲン検査（2 方向撮影） ※妊娠中の人や乳房豊胸術をしている人は受けられません。	40 歳以上の女性 （去年受けた人は対象外）	1400 円	
骨粗しょう症検診	手首の骨密度を X 線で調べます。	40・45・50・55・60・65・70 歳の女性 ※1 参照	800 円	
肝炎ウイルス検診 （一生に 1 回の受診です）	B 型肝炎・C 型肝炎の血液検査です。 （基本健診の血液検査時に一緒に採血します）	40～75 歳の男女 ※2 参照	① B 型肝炎検査+C 型肝炎検査 700 円 ② C 型肝炎検査のみ受診する場合 600 円 ③ B 型肝炎検査のみ受診する場合 100 円	

※1 骨粗しょう症検診の対象者（次の年齢に該当し、受診を希望する女性）

40 歳（昭和 42 年 4 月 1 日～昭和 43 年 3 月 31 日生）	45 歳（昭和 37 年 4 月 1 日～昭和 38 年 3 月 31 日生）
50 歳（昭和 32 年 4 月 1 日～昭和 33 年 3 月 31 日生）	55 歳（昭和 27 年 4 月 1 日～昭和 28 年 3 月 31 日生）
60 歳（昭和 22 年 4 月 1 日～昭和 23 年 3 月 31 日生）	65 歳（昭和 17 年 4 月 1 日～昭和 18 年 3 月 31 日生）
70 歳（昭和 12 年 4 月 1 日～昭和 13 年 3 月 31 日生）	

※2 肝炎ウイルス検査の対象者

平成 20 年 3 月 31 日現在で、40 歳以上 75 歳以下（昭和 7 年 4 月 1 日～昭和 43 年 3 月 31 日生まれ）の人で、過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない人。※現在肝炎の治療中の人は対象外になります。

個別健診申し込みはがき

はがきの申し込みめくり

受診希望日の 2 週間前までに健診センターに着くように、ポストに投かんしてください。

- 健診を受診する人のみ、はがきをご返送ください。

はがきの記入方法

- ① 住所、電話番号、氏名、フリガナ、性別、生年月日はすべてご記入ください。
※必ず連絡先（電話番号）をご記入ください。
※平成 20 年 3 月 31 日現在の年齢をご記入ください。
- ② 受診希望日に○をつけてください。
※内容や対象年齢などは左のページでご確認ください。
- ③ 受診希望日をご記入ください。
- ④ 再度、記入漏れがないかご確認ください。
- ⑤ 点線をはさみで切り取り、切手をはらずにそのままポストに投かんしてください。



（平成 19 年度）コスモス健診センター 住民健診申込はがき

住所	福智町 金田 937-2			
電話番号	(22) 0555			
確認事項	申込にあたり健診料金の算定のために医療・所得状況等について関係課に調査・問合せすることに同意します。		申込にあたり健診料金の算定のために医療・所得状況等について関係課に調査・問合せすることに同意します。	
フリガナ	フクチ タロウ	フクチ ハナコ		
氏名	福智 太郎	福智 花子		
性別	男・女	男・女		
生年月日	M・T・S 38 年 2 月 25 日 (45) 歳	M・T・S 42 年 8 月 14 日 (40) 歳		
健診名 受診したい項目に○をつけてください。	基本	<input type="checkbox"/>	喀痰	<input type="checkbox"/>
	胸	<input type="checkbox"/>	大腸	<input type="checkbox"/>
	胃	<input type="checkbox"/>	胃レントゲン	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	胃カメラ	<input type="checkbox"/>
	乳 (2 年に 1 回)	<input type="checkbox"/>	乳 (2 年に 1 回)	<input type="checkbox"/>
	骨 (節目年齢女性)	<input type="checkbox"/>	骨 (節目年齢女性)	<input type="checkbox"/>
	B 型肝炎 (一生に 1 回)	<input type="checkbox"/>	B 型肝炎 (一生に 1 回)	<input type="checkbox"/>
C 型肝炎 (一生に 1 回)	<input type="checkbox"/>	C 型肝炎 (一生に 1 回)	<input type="checkbox"/>	
受診日	第 1 希望	2 月 18 日 (月)	6 月 6 日 (水)	
	第 2 希望	1 月 25 日 (金)	6 月 17 日 (日)	

切り取り線

（平成 19 年度）コスモス健診センター 住民健診申込はがき

住所	福智町			
電話番号	()			
確認事項	申込にあたり健診料金の算定のために医療・所得状況等について関係課に調査・問合せすることに同意します。		申込にあたり健診料金の算定のために医療・所得状況等について関係課に調査・問合せすることに同意します。	
フリガナ				
氏名				
性別	男・女		男・女	
生年月日	M・T・S 年 月 日 () 歳		M・T・S 年 月 日 () 歳	
健診名 受診したい項目に○をつけてください。	基本	<input type="checkbox"/>	喀痰	<input type="checkbox"/>
	胸	<input type="checkbox"/>	大腸	<input type="checkbox"/>
	胃	<input type="checkbox"/>	胃レントゲン	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	胃カメラ	<input type="checkbox"/>
	乳 (2 年に 1 回)	<input type="checkbox"/>	乳 (2 年に 1 回)	<input type="checkbox"/>
	骨 (節目年齢女性)	<input type="checkbox"/>	骨 (節目年齢女性)	<input type="checkbox"/>
	B 型肝炎 (一生に 1 回)	<input type="checkbox"/>	B 型肝炎 (一生に 1 回)	<input type="checkbox"/>
C 型肝炎 (一生に 1 回)	<input type="checkbox"/>	C 型肝炎 (一生に 1 回)	<input type="checkbox"/>	
受診日	第 1 希望	月 日 ()	月 日 ()	
	第 2 希望	月 日 ()	月 日 ()	

- ・受診者多数の場合は、受診日を変更することがあります。（変更の場合は、電話にてご連絡いたします。）
- ・誕生日を含む前後 3 か月での受診をおすすめします。
1・2・3 月生まれの方は、2 月末日までにご受診下さい。

（平成 19 年度）コスモス健診センター 住民健診申込はがき

住所	福智町			
電話番号	()			
確認事項	申込にあたり健診料金の算定のために医療・所得状況等について関係課に調査・問合せすることに同意します。		申込にあたり健診料金の算定のために医療・所得状況等について関係課に調査・問合せすることに同意します。	
フリガナ				
氏名				
性別	男・女		男・女	
生年月日	M・T・S 年 月 日 () 歳		M・T・S 年 月 日 () 歳	
健診名 受診したい項目に○をつけてください。	基本	<input type="checkbox"/>	喀痰	<input type="checkbox"/>
	胸	<input type="checkbox"/>	大腸	<input type="checkbox"/>
	胃	<input type="checkbox"/>	胃レントゲン	<input type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>	胃カメラ	<input type="checkbox"/>
	乳 (2 年に 1 回)	<input type="checkbox"/>	乳 (2 年に 1 回)	<input type="checkbox"/>
	骨 (節目年齢女性)	<input type="checkbox"/>	骨 (節目年齢女性)	<input type="checkbox"/>
	B 型肝炎 (一生に 1 回)	<input type="checkbox"/>	B 型肝炎 (一生に 1 回)	<input type="checkbox"/>
C 型肝炎 (一生に 1 回)	<input type="checkbox"/>	C 型肝炎 (一生に 1 回)	<input type="checkbox"/>	
受診日	第 1 希望	月 日 ()	月 日 ()	
	第 2 希望	月 日 ()	月 日 ()	

- ・受診者多数の場合は、受診日を変更することがあります。（変更の場合は、電話にてご連絡いたします。）
- ・誕生日を含む前後 3 か月での受診をおすすめします。
1・2・3 月生まれの方は、2 月末日までにご受診下さい。

集団健診 金田保健センターでの健診について

〒 28-9500 コスモス保健センター ☎

（平成19年度）金田保健センター 総合健診申込はがき

住所	福智町 金田 937-2	
電話番号	(22) 0555	
確認事項	申込にあたり健診料金の算定のために医療・所得状況等について関係課に調査・問合せすることに同意します。	申込にあたり健診料金の算定のために医療・所得状況等について関係課に調査・問合せすることに同意します。
フリガナ	フクチ タロウ	フクチ ハナコ
氏名	福智 太郎	福智 花子
性別	(男)・女	男・(女)
生年月日	M・T・S 38年 2月 25日 (45) 歳	M・T・S 42年 8月 14日 (40) 歳
健診名 受ける項目に○をつけてください。	基本 <input type="checkbox"/> 胸 <input type="checkbox"/> 胃	基本 <input type="checkbox"/> 胸 <input type="checkbox"/> 胃
	乳 (2年に1回)	乳 (2年に1回)
	子宮 (2年に1回)	子宮 (2年に1回)
	大腸 <input type="checkbox"/>	大腸 <input type="checkbox"/>
	骨 (節目年齢女性)	骨 (節目年齢女性)
B型肝炎(一生に1回)	B型肝炎(一生に1回)	
C型肝炎(一生に1回)	C型肝炎(一生に1回)	
受診日	第1希望 6月 24日 (日)	第1希望 6月 22日 (金)
	第2希望 6月 23日 (土)	第2希望 6月 23日 (土)
受付希望時間 に○をつけてください。(※)	受付時間 ①: 8時40分～9時45分 ②: 10時～11時	受付時間 ①: 8時40分～9時45分 ②: 10時～11時

集団健診申し込みはがき

はがきの申し込みしめきり

5月11日 必着 ※当日消印有効

- 健診を受診する人のみ、はがきをご返送ください。

はがきの記入方法

- 住所、電話番号、氏名、フリガナ、性別、生年月日はすべてご記入ください。
※必ず連絡先（電話番号）をご記入ください。
※平成20年3月31日現在の年齢をご記入ください。
- 受ける健診項目に○をつけてください。
※内容や対象年齢などは右のページでご確認ください。
- 受診希望日をご記入ください。
- 受付希望時間に○をつけてください。希望の多い受付時間は、申し込みの先着順になります。
- 再度、記入漏れがないかご確認ください。
- 点線をはさみで切り取り、切手をはらずにそのままポストに投かんしてください。

記入例

切り取り線

（平成19年度）金田保健センター 総合健診申込はがき

住所	福智町	
電話番号	()	
確認事項	申込にあたり健診料金の算定のために医療・所得状況等について関係課に調査・問合せすることに同意します。	申込にあたり健診料金の算定のために医療・所得状況等について関係課に調査・問合せすることに同意します。
フリガナ		
氏名		
性別	男・女	男・女
生年月日	M・T・S 年 月 日 () 歳	M・T・S 年 月 日 () 歳
健診名 受ける項目に○をつけてください。	基本 <input type="checkbox"/> 胸 <input type="checkbox"/> 胃	基本 <input type="checkbox"/> 胸 <input type="checkbox"/> 胃
	乳 (2年に1回)	乳 (2年に1回)
	子宮 (2年に1回)	子宮 (2年に1回)
	大腸 <input type="checkbox"/>	大腸 <input type="checkbox"/>
	骨 (節目年齢女性)	骨 (節目年齢女性)
B型肝炎(一生に1回)	B型肝炎(一生に1回)	
C型肝炎(一生に1回)	C型肝炎(一生に1回)	
受診日	第1希望 6月 日 ()	第1希望 6月 日 ()
	第2希望 6月 日 ()	第2希望 6月 日 ()
受付希望時間 に○をつけてください。(※)	受付時間 1: 8時40分～9時45分 2: 10時～11時	受付時間 1: 8時40分～9時45分 2: 10時～11時

※ 希望の多い受付時間は、申込の先着順です。

（平成19年度）金田保健センター 総合健診申込はがき

住所	福智町	
電話番号	()	
確認事項	申込にあたり健診料金の算定のために医療・所得状況等について関係課に調査・問合せすることに同意します。	申込にあたり健診料金の算定のために医療・所得状況等について関係課に調査・問合せすることに同意します。
フリガナ		
氏名		
性別	男・女	男・女
生年月日	M・T・S 年 月 日 () 歳	M・T・S 年 月 日 () 歳
健診名 受ける項目に○をつけてください。	基本 <input type="checkbox"/> 胸 <input type="checkbox"/> 胃	基本 <input type="checkbox"/> 胸 <input type="checkbox"/> 胃
	乳 (2年に1回)	乳 (2年に1回)
	子宮 (2年に1回)	子宮 (2年に1回)
	大腸 <input type="checkbox"/>	大腸 <input type="checkbox"/>
	骨 (節目年齢女性)	骨 (節目年齢女性)
B型肝炎(一生に1回)	B型肝炎(一生に1回)	
C型肝炎(一生に1回)	C型肝炎(一生に1回)	
受診日	第1希望 6月 日 ()	第1希望 6月 日 ()
	第2希望 6月 日 ()	第2希望 6月 日 ()
受付希望時間 に○をつけてください。(※)	受付時間 1: 8時40分～9時45分 2: 10時～11時	受付時間 1: 8時40分～9時45分 2: 10時～11時

※ 希望の多い受付時間は、申込の先着順です。

日程

6月22日 金・23日 土・24日 日・25日 月

【受付時間】 8:30～11:00

会場

金田保健センター（福智町金田1271番地）

※ 万城保健センターの集団健診は、10月12日 金～16日 木の予定です。申し込み方法は8月ごろの広報でお知らせしますので、受診を希望される人は後日お申し込みください。

集団健診の検査項目

- 対象年齢の基準は、平成20年3月31日現在の年齢です。
- 70歳以上、生活保護世帯、非課税世帯、65～69歳の老人医療受給者の人はすべての検診が無料ですが、所得状況の申告をされていない場合は、税情報の確認ができませんので健診料金は有料になります。
- 以下の項目を選んで受けることもできます。

検査項目	内容	対象	料金
基本健康診査	問診、身体・腹囲測定、血圧、尿検査、心電図、診察、血液検査、眼底など ※ 65歳以上の人は生活機能に関する検査項目	30歳以上の男女	1300円
肺がん検診	胸部レントゲン撮影	40歳以上の男女	300円
肺がん検診	胸部レントゲン撮影 喀痰検査 (3日分) ※ 必ず胸部レントゲン検査も申し込みください。	① 50歳以上で「1日喫煙本数×年」が600以上の人 ② 40歳以上で半年以内に血痰のあった人	900円
胃がん検診	バリウムによる胃部レントゲン撮影	40歳以上の男女	900円
大腸がん検診	検便 (2日分)	40歳以上の男女	400円
乳がん検診 (2年に1回の受診です)	乳房レントゲン検査、超音波、乳頭分泌検査 ※ 妊娠中の人や乳房豊胸術をしている人は受けられません。	40歳以上の女性 (去年受けた人は対象外)	1700円
子宮がん検診 (2年に1回の受診です)	子宮頸部細胞診検査	20歳以上の女性 (去年受けた人は対象外)	600円
骨粗しょう症検診	骨密度測定	40・45・50・55・60・65・70歳の女性 ※ ① 参照	500円
肝炎ウイルス検診 (一生に1回の受診です)	B型肝炎・C型肝炎の血液検査です。 (基本健診の血液検査時に一緒に採血します)	40～75歳の男女 ※ ② 参照	① B型肝炎検査+C型肝炎検査 600円 ② C型肝炎検査のみ受診する場合 500円 ③ B型肝炎検査のみ受診する場合 100円

※ ① 骨粗しょう症検診の対象者（次の年齢に該当し、受診を希望する女性）

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 40歳 (昭和42年4月1日～昭和43年3月31日) | 45歳 (昭和37年4月1日～昭和38年3月31日) |
| 50歳 (昭和32年4月1日～昭和33年3月31日) | 55歳 (昭和27年4月1日～昭和28年3月31日) |
| 60歳 (昭和22年4月1日～昭和23年3月31日) | 65歳 (昭和17年4月1日～昭和18年3月31日) |
| 70歳 (昭和12年4月1日～昭和13年3月31日) | |

※ ② 肝炎ウイルス検査の対象者

平成20年3月31日現在で、40歳以上75歳以下（昭和7年4月1日～昭和43年3月31日生まれ）の人で、過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない人。※現在肝炎の治療中の人は対象外になります。



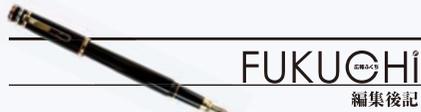
【大任町】第17回おおとうマラソン

5月27日(雨) 9:30 開会
(大任レインボーホール B&G 海洋センター)
種目: 2km、5km、10km 参加者募集中
申込締切: 4月27日 必着
参加料: 高校生 1,000 円、一般 3,000 円
園「花としじみの里おおとうマラソン」事務局
☎ 63-3000 (内線 215)

【香春町】かわら陶器まつり

5月3日 困 ~ 6日 困
参加窯元: 上野香春焼、飯岳窯、鑑月焼、守田窯、
山陶庵、邦日呂窯、仲哀焼、鏡山窯
園 香春町観光協会 ☎ 49-6037
香春町役場産業振興課 ☎ 32-8406

■ 人口: 26,364 人 (前月比 + 36 人・前年比 + 6 人)
男性: 12,512 人 / 女性: 13,852 人
(転入 89 人・転出 42 人・出生 23 人・死亡 34 人)
■ 世帯: 11,059 世帯 (前月比 + 22 世帯)
※平成 19 年 2 月末現在 (住民基本台帳人口)



▶自分より前の少年時代に流行ったバッチン。その一発勝負の果たし文句で「オパンイチ」という言葉がある。今月、恩師が書いた「オパンイチ」というエッセーを読み、胸が熱くなった。最近、広報の特集が発端で町の行草が報道されている。毎号組む特集は、魅力発見型もあれば問題提起型もある。特に行政課題は難しいが、避けられない課題でもある。担当者にとって特集課題が決まった瞬間が「オパンイチ」になる。短期間の真剣勝負が始まる。(長野)
▶福智町広報担当になってから、早くも半年が過ぎた。でも新しい町になってまだまだ知らないことばかり。そしていつも失敗ばかり。そんなことにも負けずに、これからいろんなところで顔を出して町のことをもっと知りたいと思いました。先日、道を歩いてると子どもたちから「あっ、この前来たカメラマンやろ。ひさしぶり」と、声をかけられました。町で悪いことができなくなるほどに、たくさんの人から自分の顔や名前を覚えてもらいたいと思います。(昌太郎)
▶小学 3 年生の時、ずっと一人っ子だったわたしに初めてできた妹。その妹が先日、中学校を無事卒業しました。多くの生徒が涙を浮かべた卒業式では、9 年間を共に過ごしたみんなの結束の強さを感じました。離れ離れになるのは心細い感じもするかもしれませんが、新しい出会いもぜひ大切にしてほしいと思います。4 月は役場の中にも少し変化がある月。職員 5 年生になるわたしもまた、気持ちを切り換えてがんばりたいと思います。(日吉)



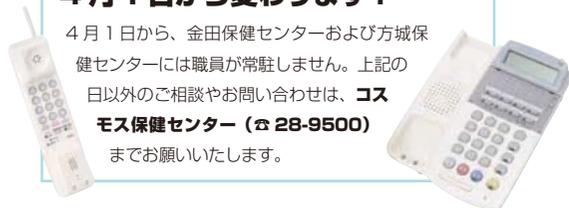
保健の掲示板

4月16日から5月15日まで

- ☑ **4月16日 月【健康相談】**
健診結果や介護など相談希望者を対象
会場: 金田保健センター / 受付: 13:30 ~ 15:30
 - ☑ **4月17日 火【7~8か月児健診】**
生後7~8か月児を対象(個人通知します)
会場: コスモス保健センター / 受付: 13:00 ~ 14:00
 - ☑ **4月18日 水【4~5か月児健診】**
生後4~5か月児を対象(個人通知します)
会場: コスモス保健センター / 受付: 13:00 ~ 14:00
 - ☑ **4月19日 木【健康相談】**
健診結果や介護など相談希望者を対象
会場: 方城保健センター / 受付: 9:30 ~ 11:30
 - ☑ **4月24日 火【ポリオ(小児マヒ)予防接種】**
3~18か月児を対象(7歳5か月まで接種可)
会場: 方城保健センター / 受付: 13:20 ~ 14:20
 - ☑ **4月25日 水【3歳児健診】**
3歳~3歳1か月児を対象(個人通知します)
会場: コスモス保健センター / 受付: 13:00 ~ 14:00
 - ☑ **5月8日 火【ポリオ(小児マヒ)予防接種】**
3~18か月児を対象(7歳5か月まで接種可)
会場: 方城保健センター / 受付: 13:20 ~ 14:20
 - ☑ **5月9日 水【乳幼児相談】**
2か月児と、身体計測や育児相談などの希望者を対象
会場: コスモス保健センター / 受付: 10:00 ~ 11:00
 - ☑ **5月11日 金【健康相談】**
健診結果や介護など相談希望者を対象
会場: コスモス保健センター / 受付: 13:30 ~ 15:30
 - ☑ **5月15日 火【7~8か月児健診】**
生後7~8か月児を対象(個人通知します)
会場: コスモス保健センター / 受付: 13:00 ~ 14:00
- ☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

4月1日から変わります!

4月1日から、金田保健センターおよび方城保健センターには職員が常駐しません。上記の日以外のご相談やお問い合わせは、**コスモス保健センター (☎ 28-9500)** までお願いいたします。



集団健診 金田保健センターでの健診について

☎ コスモス保健センター ☎ 28-9500

申し込み方法

5月11日 金までに、はがきでお申し込みください。申し込みが多い日につきましては先着順です。はがき申し込みしめきり後は、電話でお申し込みください。

はがきで申し込みの場合

前のページの「金田保健センター総合健診申込はがき」に必要事項を記入して、5月11日 金までにコスモス保健センターに着くようにポストに投かんしてください。

電話で申し込みの場合

電話申し込みは次の期限内に、コスモス保健センターまでお申し込みください。

6月1日 金 ~ 6月15日 金
コスモス保健センター ☎ 28-9500

※ ↓金田保健センター「集団健診」申し込み用はがき(表面)

40ページの内容をお読みになり、裏面に記入してください。はさみなどで切り取り、切手を貼らずにそのまま投函してください。

切り取り線

 料金受取人払 赤池局 承認 1 差出有効期間 平成19年 5月14日まで 切手をはらずに お出しください	郵便はがき 8 2 2 1 1 0 1 (受取人) 福智町赤池 970 番地 1 コスモス保健センター 行	 料金受取人払 赤池局 承認 1 差出有効期間 平成19年 5月14日まで 切手をはらずに お出しください	郵便はがき 8 2 2 1 1 0 1 (受取人) 福智町赤池 970 番地 1 コスモス保健センター 行
---	---	---	---



日 韓食文化交流の「キムチづくり体験」が、2月27日に中央公民館前で開かれました。この日、上野焼開祖のゆかりの地である韓国泗川市から農協関係者ら11人が来町。下ごしらえや隠し味の秘けつなど、三種類（白菜・大根・きゅうり）のキムチづくりが手ほだきされ、ステージでは韓国の伝統芸能である舞踊や演奏が披露されました。肌寒い2月、平日の午前中にもかかわらず、町内からは300人の人出があり、集まったみなさんは本場韓国の味と文化に親しんでいました。



3百人が本場韓国の味を家庭に【日韓食文化交流】主催／上野の里ふれあい市 共催／福智町議会観光促進特別委員会、福智町、JAたがわ赤池・金田・方城

맛있다 (おいしい!)

マシツソヨ キムチづくり



▼町長に就任して一年が過ぎようとしていく。気持ちの高まりを抑えつつ、役場の玄関をくぐり執務室に向かったのが、つい昨日のことのように思える。しかし、わたしにとって、密度の濃い一年間であった。タウンミーティングや集会等を通して多くの人と出会い、いろんなご意見や思いを頂戴した。中には、行政推進の貴重なヒントとして拝借させていただいたものもある。改めて、人と会うことの大切さを学んだ一年であったと思う▼ところで、先月二十日に閉会した三月議会は、昨年の合併時から在職している議員最後の定例議会であった。町民代表である議会と選挙で選ばれた町長を責任者とする行政は、車の両輪の如く、町の振興発展を図っていくかねばならないと言われている。程良い緊張感と相互理解を基軸に、互いの意見や考えを聞かせ、まちづくりにとっていい環境をつくり出す——それが望ましい関係だと思う。もちろん私利私欲を捨て、町民のためにという視点を持ち続けることが、町長や議員に課せられた最低限の責務だと理解している。正直なところ、手厳しい指摘や的を射た意見をいただいた時には、心の中で思わず頷いたり、謝ったりしたこともある▼今回の統一地方選挙で、福智町議会は二十人になる。どのような議会構成になったとしても、議会と協働して、ふるさと福智町の輝かしい明日のため、全力を尽くしたい。

浦田 弘二